

# 令和3年度第2回新潟県立図書館協議会

日時：令和4年3月23日（水）午後2時から4時

場所：新潟県立図書館1階 制作演習室

## 【 会 議 次 第 】

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

- (1) 令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価（案）について
- (2) 令和4年度新潟県立図書館の運営基本方針（案）について

### 4 その他（報告事項等）

- (1) 新潟県立図書館の管理・運営の見直しに係る関係者への意見聴取結果の報告について

### 5 閉 会

## 【配布資料一覧】

資料1	令和3年度第2回 新潟県立図書館協議会[配付資料]（荻原委員長）
資料2-1	令和3年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価（案）
資料2-2	令和3年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート（実績・見込）
資料3	新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）
資料4	新潟県立図書館運営基本指針 行動計画（修正案）
資料5	令和4年度 新潟県立図書館の運営基本方針（案）
資料6	新潟県立図書館 利用者アンケート集計結果
資料7	市町村立図書館等への意見照会結果
資料8	新潟県立図書館 関係者への意見聴取結果概要
資料9	生涯学習推進課及び県立図書館の考え方

令和3年度第2回 新潟県立図書館協議会 配布資料 「ご挨拶」に代えて 2022年3月23日  
 図書館協議会委員・図書館協議会委員長 荻原幸子

## I. 「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」について

### 1. 経緯（図書館協議会委員長の立場から、図書館協議会委員との情報共有）

#### ➤ 2021年10月5日

令和3年度第1回新潟県立図書館協議会における「4 その他」として、生涯学習推進課京谷（きょうや）係長より、協議会当日に会場で配布された「参考資料」にもとづいた説明があった。

#### ➤ 2021年10月20日

「新潟県教育庁生涯学習推進課長」より「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」の文書（令和3年10月19日付「教生第155号」）が送付された。回答期限は令和3年11月2日。回答にあたっては、別添資料（第1回図書館協議会で配付）を参考とするようにと明記されていた。

回答様式により、委員氏名を記入したうえで、下記の1～3の項目について、「意見」と「意見の理由」を記入するように、及び、意見のない場合は「意見なし」と記入するように、ということであった。

#### 1 県立図書館の役割・機能について

- ・市町村立図書館等への支援 ・資料提出 [ママ] や情報提供等の直接サービス
- ・資料収集・保存・提供 ・市町村立図書館との役割分担 ・レファレンス（調査相談）等

#### 2 県民への情報発信について

#### 3 効果的かつ効率的な図書館運営について

- ・「1」の役割・機能の効果的・効率的な発輝のための方策
- ・施設全体（図書館・生涯学習推進センター・文書館）としての窓口や広報等の一体化
- ・民間能力の更なる活用（指定管理者制度の導入、民間委託範囲の拡大）等

#### ➤ 2021年11月4日～11月26日

図書館協議会委員の荻原幸子と安田宏図書館長とのメールでのやり取りが、複数回行われた。

- ・ 安田宏図書館長より面談の申し出があり、荻原が「安田宏図書館長に対しては、新潟県立図書館協議会の委員、あるいは、委員長の立場」で、「生涯学習推進課の方に対しては有識者（個人）の立場」で出席するという前提のもとで了承。
- ・ 安田宏図書館長より交通費（旅費）について、県費による支出の申し出があり、荻原が了承。
- ・ 荻原より“県民である図書館協議会の皆様との情報共有のため”の記録用の録音の申し出に対して、安田宏図書館長が了承。

➤ 2021年12月8日

- 13時30分より、新潟県立図書館 館長室において面談

出席者：県立図書館：安田宏館長，小林朝幸副館長，平田ひろみ副館長

生涯学習推進課成人教育係：京谷亜祐子係長，野口副参事

- 「図書館協議会」に対する意見照会ではなく，図書館協議会「委員」への意見照会であり，図書館法第14条に基づくものではない。
- 図書館協議会「委員」が提出した意見は，「新潟県立図書館協議会委員をお務めの〇〇〇〇様からは，このような意見を頂いております」というように，協議会委員の個人名とともに記した意見を，生涯学習推進課における検討の材料にする。
- 安田宏図書館長は，今回の意見照会に関しては，図書館協議会への「諮問事項」とはしない。

➤ 2022年1月14日

- 生涯学習推進課成人教育係京谷亜祐子係長より，荻原宛てに「12月8日面談時の後日回答事項について（新潟県）」の文書が送付される。内容は以下の通り。

1 令和3年10月19日付け教生第155号「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」について [省略]

2 図書館協議会への諮問について

直営か指定管理かという図書館の管理方法に係る事項については，図書館長から諮問し，図書館協議会から意見をいただくことにはなじまないものと考えております。

- 同日，荻原より下記を返信

「新潟県立図書館協議会委員長の荻原幸子の意見については，全面的に「対応無し」ということで了解しました。以降，ご回答に応じて，こちらも適切に対応させていただきます。」

## 2. 今回の意見照会の「手続き」に関する荻原幸子（図書館協議会委員）の意見

- 図書館協議会は、図書館法第14条にもとづき「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる」とともに「図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる」ことを任務とする「機関」である。そして、図書館協議会委員による「協議の機会」として、「新潟県立図書館協議会運営要綱」にもとづき、館長の招集による会議が開催されるものと理解している。
  - 今般の意見照会は、館長に「諮問」されていない事項について、図書館協議会委員による「協議の機会」が設定されない状況のもとで、委員「個人」の意見を、新潟県教育庁生涯学習推進課に対して提出するという手続きであった。そして、12月8日の面談において、この意見照会は、図書館法の制度に基づかない手続きを遂行したと説明された。図書館法の制度に基づかない手続きが図書館協議会委員に適用される際には、その明確な理由や必然性が提示される必要があったと考える。
  - 図書館協議会委員には、この意見照会についての「協議の機会」が必要であったと考える。法律上の制度にもとづけば、図書館協議会委員による「協議の機会」が設定されるためには（すなわち、会議での「議事」とするためには）、図書館長による「諮問」が妥当であり、荻原は図書館協議会委員として館長宛てのメールにおいて「10月5日の第1回図書館協議会で「諮問事項」とすべきであった。委員の合意のもとであれば、意見の提出の仕方については今回のような手続きでも構わない、なぜ諮問事項にしなかったのか」と伝え、図書館協議会委員長としては12月8日の面談において「諮問事項とする考えはないのか」と尋ねたが、安田宏館長は「諮問事項としない」ということであった。図書館協議会委員・委員長として「協議の機会が必要であった」と考える最大の理由は、生涯学習推進課から配布された「別添資料」に対して、疑問点が少なくないことによる。例えば、以下の点である。
1. 「資料2 県立図書館の現状と課題」には、課題（解決しなければならない問題。果たすべき仕事。「デジタル大辞泉」より）の一つに「若手職員へのレファレンススキルの継承や全体のレベルアップが必要」と明記されている。「レファレンススキル」の継承やレベルアップという重大な課題は、ただちに（今年度からでも）取り組む必要があると考えるが、「新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）」、あるいは、「運営基本指針を踏まえた令和3年度の主な取組事項」のいずれにおいても明記されていないのはなぜなのかが分からない。
  2. 「資料2 県立図書館の現状と課題」には、課題の一つに「4 ICT化への対応 来館せずに利用できるコンテンツの充実が必要」とされているが、令和3年度第1回新潟県立図書館協議会において、富岡企画協力課長から「「非来館型サービスのPR・充実」については、越後佐渡デジタルライブラリーのPRと充実を図っていきたいと思います。電子書籍については情報収集を引き続き行っていますが、現時点では導入を予定していません。」「音楽ライブラリーのスマホ・タブレット利用の検討」ですが、[中略] 予算全体が縮小されているため、次年度以降も音楽ライブラリーを継続していくかどうかは、慎重に見極めていきたいと思います。」と説明されている。そうであれば、（現行の越後佐渡デジタルライブラリー以外に）どのようなコンテンツの充実を「課題」として想定しているのかが分からない。
  3. 「資料4 他県の動向」において、県立長野図書館と鳥取県立図書館だけが直営の県立図書館として取り上げられているのはなぜなのか。意見提出後の12月8日の面談の際に尋ねたところ、「資料費」を選定理由としたことが生涯学習推進課の京谷係長より示された。ただし、資料費を着眼点と

することに、どのような意義があるのか分からない。また、そもそも新潟県立図書館の管理・運営のあり方に関する意見をまとめる際に、人口規模、地理的状況、財政状況等が全く異なる他県の図書館の動向が、なぜ参考になるのかが分からない。

4. 回答様式において「意見」と「意見の理由」が求められた項目の一つに「2 県民への情報発信について」があるが、「別添資料」のどこにも参考とすべき情報が記されていない。「資料2 県立図書館の現状と課題」にも「課題」とはされていない。この項目については、何を手がかり（参考）にして意見を述べればよいのか分からない。
5. 回答様式の「1. 県立図書館の役割・機能について」において「資料提出や情報提供等の直接サービス」と記載されている。「資料提供」という用語は、図書館にとっては極めて基本的、かつ、重要な用語であることは周知の事実である。この用語の「誤字」については、意見照会者の見識が問われるのではないか。（さらに、県内図書館の固有名称についても誤字があったことを付記する。）

少なくとも、図書館協議会委員としての荻原「個人」の限りでは、上記についての疑問と疑念が解消されないまま、手続きに関して納得できない状態のもとに、「意見」と「意見の理由」を記して提出せざるを得なかった。生涯学習推進課による「県立図書館の管理・運営のあり方について」の検討においては、図書館協議会委員として、できる限りの協力をしたいと考えているが、今般の意見照会に関しては、(1)図書館法の制度に基づかない手続きであることについての、明確な理由や必然性が提示されていない (2)図書館協議会委員に提供された参考資料の内容が適切であったとは判断できない、という2点において至って残念である。

最後に、新潟県立図書館の管理・運営のあり方の見直しについての検討において、「図書館協議会の意見が新潟県教育庁生涯学習推進課に提出された」というような、新潟県民の方々の「誤解」を招くことは回避しなければならないと考える。

新潟県教育庁生涯学習推進課に提出されたのは、「図書館協議会委員」の「個人の」意見であること、及び、意見を提出する際に、図書館協議会における「協議の場」は設定されなかったことを、公式な場において記録に残しておく必要があると考える。

## II. 令和3年度第1回新潟県立図書館協議会 議事録について

### 1. 経緯（図書館協議会委員長として、委員との情報共有）

#### ➤ 2021年11月20日

- 新潟県立図書館より、令和3年度第1回新潟県立図書館協議会議事録についての校正依頼があった。荻原（図書館協議会委員）からの、例年通りの議事録ではない点に関する問い合わせに対して、小林朝幸副館長より、「図書館協議会委員長 荻原幸子」宛てに下記の返信があった。

2021年11月24日付

「今年度より、本県の他の審議会の例にならい、事務局からの説明については、省略した形で記載することとし、委員の皆様のご発言については、趣旨を損なわないよう留意しながら、あいさつ等の形式的な部分や繰り返しなどを省き、要旨に絞った記述としております。「4 その他」の部分についても、「生涯学習推進課から説明」との表現にしてあります。別添で、修正前のテープ起こしの文章をお送りしますのでご参考になさってください。」

本返信とともに、修正前のテープ起こしの文書ファイルが送付された。

2021年11月25日付

「従来の議事録は、形式的なあいさつや前置き、繰り返しなど、発言趣旨に直接関係のない部分もそのまま記載し、冗長な部分が多く読みづらい議事録となっていたと考えております。そのため、文脈に沿って、発言趣旨に極力影響のないように言い換え（よって「公開性が低下する」とは考えておりません）、議論の推移に関わりのない部分を省略することで、読みやすく、結果としてより伝わりやすい議事録とすることを目指したものです。（読みにくいことが読み手にとってのバリアになることもあり、逆に伝わりやすいことで図書館に対する理解が深まりやすくなるのではないかと考えております）特に、事務局の説明は、資料に沿ったものであり、前回から、議事録と合わせて配布資料も公開することとしたことから、重複を避けるために省略することしました。

本県の他の審議会には、口頭での発言どおりに逐一記載した議事録もありますが、要旨に絞り、事務局の説明等は省略した形で記載している例があり、この方がより伝わりやすい議事録となるのではないかと考え、これらを参考に本協議会の議事録を作成いたしました。」

#### ➤ 2021年12月5日

- 図書館協議会委員3名（荻原を含む）の連名で、安田宏図書館長宛に、「新潟県立図書館協議会の議事録について（意見）」の文書（2021年12月5日付け）を提出した。その内容（抜粋）は以下の通りである。

- （1）新潟県立図書館協議会の会議は、以下に示す通り、県民の皆様に対して極めて公開性の低い状態で開催されております。[以下省略]

(2) 新潟県立図書館は、従来の議事録が「冗長な部分が多く読みづらい議事録となっていた」と判断したとのことですが、「読みづらい」ものであるか否かは、ひとえに新潟県民の方々が判断なさることです。たとえ図書館が「図書館に対する理解が深まりやすくなるのではないかと思っている」としても、今般の図書館による変更が「県民の方の理解が深まりやすくなる」と判断できる根拠はありません。また、昨年度までと同様、今年度に至っても、新潟県民や協議会委員の方々から「読みづらい」というご意見があったということ、私どもは聞いておりません。

(3) そもそも図書館協議会は、利用者及び住民の要望を十分反映した図書館の運営がなされるように設置された機関です。新潟県立図書館長の招集により開催された協議の場における協議会委員と図書館職員の対話（発言）について、招集側である新潟県立図書館自身が「形式的なあいさつや前置き、繰り返しなど、発言趣旨に直接関係のない部分」であるか否かを判断したり、「文脈に沿って、発言趣旨に極力影響のないように言い換え、議論の推移に関わりのない部分を省略する」という行為を、私どもは断じて許容することはできません。なぜならば、新潟県立図書館にとって都合の良い発言ばかりが議事録に記録され、都合の悪い発言は省略されるという行為の温床となり得るからです。少なくとも、新潟県民の方々の誤解や不信感を招きかねない事態は、極力回避しなければなりません。

▶ 2021年10月5日に開催された「令和3年度第1回図書館協議会議事録」は、2022年3月6日13時に、新潟県立図書館のWebサイトで公開された。

[https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page\\_id=291](https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=291)

以上

## 令和3年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価(案)

## 1 評価項目(指標)

## (1) 地域社会への貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア [行政連携] ギャラリー展示回数	2回	4回	1回	5回	250%	A
イ [行政連携] コーナー展示回数	8回	22回	3回	25回	313%	A
ウ 県庁貸出冊数	100冊	150冊	10冊	160冊	160%	A
エ 越後佐渡 DL デジタル化画像数	1,000点	0点	935点	935点	94%	B
オ 越後佐渡 DL アクセス件数	12,000件	8,421件	2,500件	10,921件	91%	B
カ 郷土人物/雑誌記事索引DB収録数	2,500件	0件	3,400件	3,400件	136%	A
キ 郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5,300件	3,349件	700件	4,049件	76%	D

## (2) 県内図書館への貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	15,000冊	10,926冊	3,295冊	14,221冊	95%	B
イ 訪問等回数(研修以外)	20回	15回	0回	15回	75%	D
ウ 高等学校図書館への協力貸出冊数	50冊	108冊	0冊	108冊	216%	A
エ 市町村職員向け研修会等参加人数(訪問研修以外)	200人	160人	28人	188人	94%	B
オ 市町村訪問研修回数	10回	10回	2回	12回	120%	A
カ 訪問研修メニュー数	4			4	100%	A

## (3) 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指標	目標	実績 <sup>4~1月</sup>	見込 <sup>2~3月</sup>	計	達成率	評価
ア 入館者数	300,000人	247,127人	52,469人	299,596人	99%	B
イ 個人貸出冊数	420,000冊	379,154冊	79,421冊	458,575冊	109%	A
ウ レファレンス協同DB登録件数	30件	19件	13件	32件	106%	A
エ SNSへの記事掲載回数	24回	56回	10回	66回	275%	A
オ サピエ資料の貸出冊数	220点	203点	22点	225点	102%	A
カ 職員全体研修会の開催(館内)	2回	2回	0回	2回	100%	A
キ 館内研修における職員の発表回数	10回	6回	0回	6回	60%	E
ク 職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修除く)	平均2回			平均2.6回	129%	A

## 2 図書館協議会による評価

上記評価項目について、図書館協議会委員による外部評価を実施する。

# 【資料2-2】 令和3年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート(実績・見込)

## 1 地域社会への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部署とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署との協議</li> <li>展示</li> <li>市町村巡回展示の試行</li> </ul>	ギャラリー展示回数【2回】	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、図書館を通じて県政策を県民にPRするためのコラボ展示の呼びかけを県職員専用ポータルサイトで行い、以下の展示を実施した。 <実績> ①にいがた「道」フォトコンテスト受賞作品パネル展示会 (県土木部道路建設課) 4月6~27日 ②新潟駅周辺整備事業PR展 (新潟市新潟駅周辺整備事務所) 7月6~27日 ③統計グラフコンクール (県統計課、県統計協会) 12月14~28日 ④にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県林政課) 1月19日~2月6日 ⑤拉致問題を考える巡回パネル展 (県国際課拉致問題調整室) 2月9~27日	4回	1回	5回	達成率250% 評価(5) 100%以上	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られ、年度当初の目標を達成した。 次年度以降も更なる行政連携展示に取り組む。 また、今年度試行的に開始した「県読書おたよりコンクール作品展」市町村図書館巡回展示の充実を図り、県の行政施策の県民への周知に繋げていきたい。	A	
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	コーナー展示回数【8回】	図書館を通じて県施策を県民にPRするため、連携展示の呼びかけを県職員専用ポータルサイトで行った。 県民に関心を持ってもらうための取組として、展示ブースでの施策PRチラシや関連グッズの配布、施策アンケートを実施した。また関連テーマ図書リストを作成し配布した。 <連携展示実績> 新潟県立万代島美術館、新潟県立歴史博物館、新潟県女性財団、長岡地域振興局、福祉保健部感染症対策・薬務課、生涯学習推進課、福祉保健部健康づくり支援課、農林水産部食品・流通課、福祉保健部障害福祉課、新潟県労働委員会、県民生活・環境部スポーツ課、県民生活・環境部県民生活課	22回	3回	25回	達成率313% 評価(5) 100%以上	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られ、多くの部局から申し込みがあった。今後も行政連携展示の周知を図り、県民に向けた情報発信を積極的に行っていく。	A	
	県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手續改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	県庁貸出冊数【100冊】	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、県行政との連携拡大を目指して県各所属、職員に対して県職員専用ポータルサイトで県庁貸出サービスのPRを行った。	150冊	10冊	160冊	達成率160% 評価(5) 100%以上	県職員専用ポータルサイトでの呼びかけの効果もあり、貸出冊数は目標を上回った。 今後は、仕事に役立つ資料の紹介や、調べ物のお手伝い事例の紹介等、利用促進のための取り組みを進めていく。	A	

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	見込	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
					(～1月)	(2,3月)					
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は行政資料の収集に重点的に取り組むこととし、欠号状況・出版状況のチェックをおこない、寄贈依頼・受入れを進めた。</li> <li>書庫の保存環境については、実態調査を進めるとともに、不要物品等の廃棄を進めた。</li> </ul>					郷土資料の収集点数は、2月末現在で3,665冊となっており、昨年同時期より273冊の増加となっている。特に、今年度重点的に取り組んだ「行政資料」の収集点数については、対前年度比6割増の486冊となっている。		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	デジタル化画像数【1,000点】	今年度の参加機関は、「上越市公文書センター」「上越市立高田図書館」「長岡市立中央図書館」「新発田市立歴史図書館」「良寛記念館」の5機関および当館。10月から12月にかけて順次撮影を行い、3月中に追加・公開する予定となっている。	0点	935点(画像数)	935点(画像数) (撮影資料点数75)	達成率94% 評価(4) 90～100%	当初の年間計画どおり作業を進めることができたが、大判の絵図等の撮影に時間を要したこともあり、撮影画像数は目標にわずかに及ばなかった。次年度以降、関係機関にも呼びかけ充分調整を行い、デジタルライブラリーの更なる充実を図ってきたい。	B	
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	アクセス件数【12,000件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ上でテーマに沿った収録資料を紹介する「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー」を6月から開始し、2ヶ月ごとに更新した。</li> <li>①「ちょっと昔の新潟」</li> <li>②「近代日本の発展と佐渡金銀山」</li> <li>③「風雲！春日山城」</li> <li>④「雪国の風情を楽しむ」</li> <li>⑤「歩いて楽しむ古地図の世界」</li> </ul> また、7月に全国のおすすめデジタルアーカイブリンク集「デジタル画像を自宅で楽しむ」を開設した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「資料の絞り込み検索」を実現するシステム修正が可能となった事にあわせ、サイトのデザインをより便利にわかりやすいものへ見直すこととし、全体のリニューアルを実施、懸案であった「二次利用条件の明示」についても開始した。</li> <li>ホームページ上でデジタルライブラリーに関する情報の更新を定期的実施し、ツイッター等でPRに努めた。</li> </ul>	8,421件	2,500件	10,921件	達成率91% 評価(4) 80～90%	PRに努めるとともに、より利用しやすいシステムを目指し様々な取組を行った結果、前年度よりはアクセス件数が増加したものの、目標値には届かなかった。3月の新規データ公開に合わせ、新規利用者の獲得を目指しさらにPRを行ってきたい。	B	
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引については、2,311件のデータ入力作業を進め、登録作業を開始している。郷土雑誌記事索引については、1,053件の記事を採録し、登録作業を進めており、追加の採録も開始している。	0件	3,400件	3,400件	達成率136% 評価(5) 100%以上	2つの索引の合計で、目標を超える約3,400件の登録をおこなうことができた。今後も、登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A	
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	アクセス件数【5,300件】	3月に予定されているデータ公開にあわせ、ツイッターによる情報発信を予定している。また、アクセスしてもらう機会を増加させるため、郷土人物についての「ピックアップコーナー」の新設を予定している。	3,349件	700件	4,049件	達成率76% 評価(2) 70～80%	今年度のアクセス数は目標値を下回った。3月には新規データ公開もあるため、利用者拡大を目指して、より広くPRに努めていきたい。	D	

## 2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>展示用コレクションの貸出</li> </ul>	協力貸出冊数【15,000冊】	市町村立図書館等の新たなニーズを掘り起こすため、テーマ別図書セット貸出サービスを試行的な取り組みとしてスタートした。併せて市町村図書館職員に相互貸借サービスの活用を呼びかけた。	10,926冊	3,295冊	14,221冊	達成率95% 評価(4) 190~100%	9月から始めたテーマ別図書セット貸出サービスの利用は1館であった。PR不足とニーズの見極め不足が原因と思われる。今後は、市町村図書館からの意見を聴取して運用を整備するとともに、活用例等を提示して利用促進を図る。なお当初、実績への加算を想定していた「高校貸出数」と「県庁貸出数」は対象外とした。	B	
	県内図書館等への訪問の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施</li> </ul>	訪問等回数(研修以外)【20回以上】	<p>相談や情報交換会など様々な機会を捉えて、以下の訪問を行った。新型コロナウイルス感染状況等を踏まえて、時期によりオンラインに切り替えるなどして臨機応変に対応して実施した。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①5月28日 南魚沼市図書館(訪問相談)</li> <li>②6月22日 新潟市立中央図書館(障害者サービス情報交換会)</li> <li>③6月25日 妙高市新図書館等複合施設建設設計業務委託プロポーザル審査会</li> <li>④7月9日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」(田上町)</li> <li>⑤7月14日 訪問相談(県立高田南城高校)</li> <li>⑥8月23日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」(十日町市図書館) オンライン</li> <li>⑦9月8日 訪問相談(長岡市立中央図書館) オンライン</li> <li>⑧10月1日 訪問相談(新潟薬科大学附属図書館)</li> <li>⑨10月13日 訪問相談(出雲崎町立出雲崎図書館)</li> <li>⑩10月22日 訪問相談(県立白根高校図書館)</li> <li>⑪11月12日 訪問相談(村上市立中央図書館)</li> <li>⑫11月19日 県視覚障害者情報センター利用者懇談会</li> <li>⑬12月14日 次年度訪問研修についての検討会議(県視覚障害者情報センター)</li> <li>⑭12月16日 訪問セミナー(上越市立高田図書館)</li> <li>⑮1月26日 訪問相談(埋蔵文化財調査事業団)</li> </ul>	15回(うちオンライン2回)	0回	15回	達成率75% 評価(2) 70~80%	一部の訪問は、新型コロナウイルス感染状況等によりオンラインで実施せざるを得ないこともあった。次年度以降も新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、相談や打合せ等の機会を捉えてより多くの職員が市町村を訪問、顔の見える関係を築くことによって、各館の実情に合わせたきめ細かい支援に繋がっていききたい。なお当初、実績への加算を想定していた「デジタルライブラリー撮影」は対象外とした。	D	
	県立高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校への訪問相談</li> <li>協力貸出の推進</li> <li>連携事業の実施</li> </ul>	高等学校協力貸出冊数【50冊】	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高等学校等への協力貸出事業の改善に向けて、9月にアンケート調査を実施した。アンケート結果を踏まえ、物流システムの改善と、利用方法の簡便化を進めている。</li> </ul>	108冊	0冊	108冊	達成率216% 評価(5) 100%以上	県立高等学校等へのアンケートを行ったことにより、相互貸借制度の理解に繋がった。また授業実践のための資料提供依頼があるなど、波及効果もあった。引き続き、県立高等学校等のニーズを聞きながらサービスの改善を図っていききたい。	A	

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績 （～1月）	見込 （2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修等の実施</li> <li>・オンライン研修</li> <li>・訪問研修の実施</li> <li>・訪問研修メニューの改善</li> <li>・参考となる図書の紹介・貸出</li> </ul>	研修会等参加人数 （訪問研修以外） 【200人】	<p>階層別研修や研究会にオンライン形式も取り入れ、より多くに参加してもらえるよう取り組んだ。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①6月3日、4日 新潟県公共図書館新任職員研修会 計36人（会場1日目9人、2日目12人、オンライン15人）</p> <p>②9月29日～ 新潟県公共図書館中堅職員研修会（配信・オンライン）計30人</p> <p>③11月30日～12月3日 関東甲信越静地区図書館地区別研修 計94人</p> <p>④2月24日 県内公共図書館総合部門研究会 計28人</p>	160人	28人	188人	達成率94% 評価（4） 90～100%	オンラインで開催することにより参加しやすくなるよう取り組んだが、目標にはわずかに及ばなかった。次年度も開催方法を工夫しながら、市町村図書館職員のニーズに合った研修を充実させ、県内図書館のレベルアップを図っていきたい。	B	
			市町村訪問研修回数 【10回以上】	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時的に研修をオンラインに切り替えるなどして臨機応変に取り組んだ。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①6月29日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（柏崎市立図書館）</p> <p>②7月8日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（新発田市立中央図書館）</p> <p>③8月30日 レファレンス研修・郷土レファレンス編（長岡市立中央図書館）オンライン</p> <p>④9月8日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（佐渡市立中央図書館）オンライン</p> <p>⑤9月27日 レファレンス研修・郷土レファレンス編（燕市立図書館）オンライン</p> <p>⑥10月21日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（上越市立高田図書館）</p> <p>⑦11月12日 資料の修理や保存の基礎（田上町地域学習センター）</p> <p>⑧11月19日 資料の修理や保存の基礎（阿賀町公民館図書室）</p> <p>⑨11月22日 レファレンス研修・郷土レファレンス編（十日町図書館）</p> <p>⑩12月6日 レファレンス研修・初級編（小千谷市立図書館）</p> <p>⑪2月28日 レファレンス研修・初級編（長岡市立中央図書館）オンライン</p> <p>⑫3月23日 資料の修理や保存の基礎（長岡工業高等専門学校図書館）</p>	10回 （うちオンライン4回）	2回	12回	達成率120% 評価（5） 100%以上	オンラインで実施した効果もあり、年度当初の目標を達成した。一方で、オンラインにはなじまない「資料の修理や保存の基礎」など対面式の実習や実技指導がメインのものは、一部延期せざるを得なかった。次年度以降は、感染拡大時にもできるだけ市町村の要望に応えられるよう更なる工夫を図りながら、目標の達成を目指したい。	A	
			訪問研修メニュー数 【4】	<p>新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を新たに開始するとともに、レファレンス研修のプログラムを要望に応じて目的毎に再編成し、研修内容の多様化を図るなど改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者サービス研修</li> <li>・レファレンス研修（初級編）</li> <li>・レファレンス研修（郷土編）</li> <li>・資料の修理や保存の基礎</li> </ul>	4			達成率100% 評価（5） 100%以上	当初目標は年度当初に達成し、研修テーマ・内容等についても好評であった。次年度以降も新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を基礎編・実践編と展開することによって、訪問研修メニューの多様化を図り、市町村図書館職員のレベルアップに繋げていきたい。	A	

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績 (~1月)	見込 (2,3月)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	利用サービスの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・調査相談 (レファレンス) 機能の向上</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>	入館者数 【30万人】 ※コロナ禍の影響を考慮	感染症対策下で、出向いての広報が制限される中、ツイッターの開始や、庁内LANでの職員へのお知らせ掲載など情報発信に努めた。 9月の緊急事態宣言による臨時休館期間は、予め予約した資料の貸出を、エントランスホールの特設会場で実施した。 安全に配慮したうえで、可能なサービスを継続し、結果として、目標達成につながるよう努めた。	247,127人	52,469人	299,596人	達成率99% 評価 (4) 90~100%	制限のある中で安心して利用できる環境の確保に努めて、基本的なサービスを維持するなどの取組により、一定程度利用は回復したが、目標値にわずかに及ばなかった。今後は、感染状況の改善に合わせて徐々にサービス範囲を拡大して、従来のサービスの再開や新たなサービスに取り組んでいきたい。	B	
			貸出冊数 【42万冊】 ※コロナ禍の影響を考慮	新しい資料収集方針のもと、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や他部署との連携展示を積極的に行った。また、展示テーマについて調べるためのヒント集 (パスファインダー) を作成し、配布及びホームページに掲載することで、資料の利用促進を図った。併せて書架内展示や資料の見せ方の工夫など、魅力ある棚づくりを努めた。	379,154冊	79,421冊	458,575冊	達成率109% 評価 (5) 100%以上	利用促進の取組と、9月の感染拡大防止に伴う臨時休館中も、予約資料の貸出サービスを継続したことにより、目標を達成する見込みである。今後も行政連携展示に重点を置いた取組を進める。	A	
			レファレンス協同データベース登録件数 【30件】	利用者から寄せられた調査相談内容から郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動を支援すると思われる事例を選定して登録を行った。また、調査事例だけでなく、調べ方マニュアルも登録することで、間接サービスの向上を図った。	19件	13件	32件	達成率106% 評価 (5) 100%以上	スケジュール通りに作業を進めた結果、登録件数は32件となり、目標を達成する見込みである。	A	
			SNSへの記事掲載回数 【24回】	ツイッターでの情報発信を9月から開始した。独自アカウントを開設し、新たな情報発信に取り組んだ。	56回	10回	66回	達成率275% 評価 (5) 100%以上	コロナウイルス感染症拡大による臨時休館情報等の発信も多かったため、年度当初の目標を大きく上回った。次年度以降は、上方修正した指標の達成を目指して、ツイッターの特性にあわせた投稿内容を工夫するとともに、フォロワーの増加や県内図書館のフォローによる情報の周知・拡散にも取り組んでいきたい。	A	
読書に困難のある県民へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新コーナー設置と資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サビエ等サービスのPR</li> </ul>	サビエ資料の貸出冊数 【220点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月にギャラリーで「見て、聴いて、楽しむ! バリアフリー読書」展示を実施し、新コーナーの紹介や、当館の障害者サービスの案内を行った。</li> <li>・市町村図書館職員向けの障害者サービス研修では、サビエ活用の呼びかけを行った。</li> <li>・県内で障害者サービスを必要としている方々に効率的に情報提供するため、視覚障害者情報センターと連携協力し、相互PRや音訳協力者の研修等を実施した。</li> </ul>	203点	22点	225点	達成率102% 評価 (5) 100%以上	取組の結果、市町村図書館利用者が、県立図書館のサビエサービスを利用する事例も数件あるなど、貸出冊数が順調に伸び、目標を達成する見込みである。今後は視覚だけでなく、様々な障害により読書が困難な方への読書支援に努めるとともに、団体に向けたサビエサービスのPRを積極的に行い、利用に繋げていきたい。	A		
子どもや若い世代の読書推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応を踏まえた子ども向けイベントの再開</li> <li>・高等学校への協力貸出 (再掲)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に換気を行うため、子ども図書室の壁に扇風機を設置し、入替え制で入室する方法で10月から開室した。現在は平日の午前9時30分から午後4時までの限定的開室としている。読み聞かせイベントは、コロナウイルスの感染拡大を受け、再開を延期した。</li> <li>・県立高等学校等への協力貸出事業の改善に向けて、9月にアンケート調査を実施した。アンケート結果を踏まえ、物流システムの改善と、利用方法の簡便化を進めている。(再掲)</li> </ul>					新しい様式を取り入れ、子ども図書室を開室することができた。コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、読み聞かせイベント再開の準備を進める。読み聞かせイベント休止中は、司書のおすすめ本をセットにして貸出する等の代替イベントを実施することで、子どもの読書活動普及に取り組んでいきたい。			

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績 （～1月）	見込 （2,3月）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の 育成	職員の研修機会の 充実	・研修に参加しやすい環 境の整備 ・研修成果の共有と自己 研鑽	職員全体研修会の開催 【2回】	蔵書点検による休館期間中(6月)、仕事始め(1月)に各1回の研 修を実施した。 <実績> ・6月 認知症サポーター養成講座 ・R4年1月 図書館の自由を学びなおす	2回	0回	2回	達成率100% 評価(5) 100%以上	全員受講の機会を確保することは難しかった が、当初の予定どおり2回実施できた。 今後も全体研修の機会を確保して、図書館 全体のレベルアップにつなげていきたい。	A	
			館内研修における職員 の発表回数 【10回】	受講した研修について報告し、成果を共有する「伝達研修」 を、1月に実施した。 ①全国図書館大会山梨大会（高齢者サービス） ②全国図書館大会山梨大会（障害者サービス） ③全国公共図書館協議会研究集会・児童青少年部門 （感染症下の児童サービス） ④全国公共図書館協議会研究集会サービス・総合経営部門 （デジタル・アーカイブの構築と活用法） ⑤新潟県公共図書館中堅職員研修会 （常識のカバーを外そう 新たな図書館サービスの実践） ⑥図書館総合展（資料保存）	6回	0回	6回	達成率60% 評価(1) 70%未満	研修の受講に注力した一方、発表の機会を 充分確保することができなかった。 研修受講による成果は、日常業務で実践し 共有することにより活かしているが、今後は 伝達研修のあり方を検討し、全体のスキル アップにつながるよう工夫していきたい。	E	
			職員の研修・会議等参 加平均回数（全体研修 を除く） 【平均2回】	オンライン研修の増加により、例年より多くの職員が受講する ことができた。また、職員のスキルアップに向けて、研修の受 講機会を一定程度確保することができた。 <実績> ①4月14日 Zoom研修4名 ②5月19日 パワーポイント研修1名 ③6月11日 ジャパンサーチ連携説明会2名(オンライン) ④6月14日 公文書管理活用研修会2名 ⑤7月8,9日 関東地区公共図書館協議会研究発表大会(オンライ ン)5名 ⑥7月15日 情報処理システム所管所属システム担当者研修1 名 ⑦7月16日 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サー ビス説明会(オンライン)2名 ⑧7月20日 子ども読書レベルアップ研修会(阿賀野市)2名 (うちオンライン1名) ⑨8月27日 著作権セミナー1名 ⑩9月29日 新潟県公共図書館中堅職員研修会(～10月6日、オン ライン)2名 ⑪10月26日 新潟県学校図書館研究大会1名(オンライン) ⑫11月1日～図書館総合展2名(オンライン) ⑬11月11日～全国図書館大会山梨大会3名(オンライン) ⑭11月25日～全国公共図書館協議会研究集会・児童青少年部門 2名(オンライン) ⑮11月25日～全国公共図書館協議会研究集会・サービス部門総 合・経営部門2名(オンライン) ⑯11月30日～～12月3日関東甲信越静地区図書館地区別研修8 名(オンライン) ⑰12月3日 2021年度サピエ研修会1名(オンライン) ⑱1月20,21日 制作評価に関する統一研修1名(オンライ ン) ⑲1月21日 庁内マイスター講座2名 ⑳1月26日～情報リテラシー向上セミナー2名(オンライン) ㉑1月27日 特別研修「デジタル×地方」1名(オンライン) ㉒1月28日 多様な事例に学ぶ！行政・自治体のためのWEB・ SNS 活用セミナー1名(オンライン) ㉓2月9日 国立国会図書館フォーラム「デジタル化及びデジ タルアーカイブ構築の現状と未来」1名(オンライン)			平均 2.6回	達成率129% 評価(5) 100%以上	オンライン研修の増加により、参加機会が 格段に得やすくなったこともあり、当初目 標を上回った。 オンライン環境等の設備も整いつつあるた め、次年度以降も可能な限り職員の研修参 加機会を確保し、職員の育成と能力向上を 図りたい。	A	

## 新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）

## 1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

## ○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとした展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布

## ○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・郷土資料の積極的収集・保存
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

## 2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

## ○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等への訪問事業

## ○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の各種研修の開催

## 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

## ○県民の読書環境の整備

- ・読書が困難な県民のための利用環境整備
- ・子どもや若い世代向けの読書推進の取組

## ○県立図書館職員の能力の育成

- ・県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

# 新潟県立図書館運営基本指針 行動計画（修正案）

資料 4

## 1 地域社会への貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県の行政施策と連携した取組		3年後の姿：県各部署との連携により、県の行政施策を県民に届ける	
① 県各部署とのコラボ展示 [新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署との協議</li> <li>展示</li> <li>市町村巡回展示の試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示</li> <li>市町村への巡回展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示</li> <li>市町村への巡回展示</li> </ul>
【指標】 ギャラリー展示回数 <現状値：－>	2回	6回	6回
② 特設コーナーにおける県行政施策の広報 [新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の実施</li> </ul>
【指標】 コーナー展示回数 <現状値：－>	8回	12回 → 24回	12回 → 24回
③ 県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手续改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出</li> <li>県庁レファレンスの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出</li> <li>県庁レファレンスの実施</li> </ul>
【指標】 県庁貸出冊数 <現状値：約50冊>	100冊	120冊	120冊
(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用		3年後の姿：資料の充実と活用を図る	
① 新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>保存環境の整備</li> <li>行政資料の収集・展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>保存環境の整備</li> <li>行政資料の収集・展示</li> </ul>

※ 「現状値」は、原則として令和2年度実績（推計値を含む） 指標は、全て単年度毎の数値

（「1 地域社会への貢献」の続き）

②	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>
	【指標】 デジタル化画像数 ＜現状値：890点＞	1,000点	1,000点	1,000点
	【指標】 アクセス件数 ＜現状値：9,900件＞	12,000件	12,000件	12,000件
③	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>
	【指標】 データベース収録数 ＜現状値：約2,000件※＞	2,500件	2,500件	2,500件
	【指標】 アクセス件数 ＜現状値：約4,400件＞	5,300件	5,300件	5,300件

※ 1 (2)③のデータベース収録数の現状値のみ、令和元年度の数値

## 2 県内図書館への貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援 <span style="float: right;">3年後の姿：市町村等と連携して県内図書館全体の利用環境を改善する</span>			
① 県内図書館等への協力貸出の充実 (高等学校宛ては別途記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>展示用コレクションの貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>セット内容の随時見直し</li> <li>コレクションの随時見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>セット内容の随時見直し</li> <li>コレクションの随時見直し</li> </ul>
	【指標】 協力貸出冊数 ＜現状値：約13,000冊＞	15,000冊	16,000冊

※ 「現状値」は、原則として令和2年度実績（推計値を含む） 指標は、全て単年度毎の数値

（「2 県内図書館への貢献」の続き）

②	【指標】 訪問等回数(研修以外)	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施	・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施
	【指標】 訪問等回数(研修以外) ＜現状値：11回＞	20回以上	20回以上	20回以上
③	県立高等学校図書館への支援	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施
	【指標】 高等学校協力貸出冊数 ＜現状値：約50冊＞	50冊	75冊 → 120冊	100冊 → 150冊
(2) 県内図書館等職員の人材育成		3年後の姿：研修内容や手法の工夫により参加者を増やす		
	各種研修会等の実施	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出
	【指標】 研修会等参加人数（訪問研修以外）＜現状値：95人＞	200人	200人	200人
	【指標】 市町村訪問研修回数 ＜現状値：7回＞	10回以上	10回以上	10回以上
	【指標】 訪問研修メニュー数 ＜現状値：3＞	4	5	5

※ 「現状値」は、原則として令和2年度実績（推計値を含む） 指標は、全て単年度毎の数値

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

項目名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 県民の読書環境の整備		3年後の姿：サービスの幅を広げることで読書の機会が充実する	
① 利用サービスの改善 [一部新規]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・調査相談（レファレンス）機能の向上</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>	・左記を含む運用の改善	・左記を含む運用の改善
【指標】入館者数 ＜現状値：約27万人＞	30万人	40万人	40万人
【指標】貸出冊数 ＜現状値：約41万冊＞	42万冊	45万冊	45万冊
【指標】レファレンス協同データベース登録件数 ＜現状値：30件＞	30件	40件	40件
【指標】SNSへの記事掲載回数 ＜現状値：－＞	24回	36回 → <b>120回</b>	48回 → <b>120回</b>
② 読書に困難のある県民へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新コーナー設置と資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の充実</li> <li>・利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・サピエ等サービスのPR</li> </ul>
【指標】サピエ資料の貸出冊数 ＜現状値：約200点＞	220点	240点	260点
③ こどもや若い世代の読書推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応を踏まえたこども向けイベントの再開</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども向けイベントの実施</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども向けイベントの実施</li> <li>・高等学校への協力貸出（再掲）</li> </ul>

SNS：各月9回～10回情報発信で積算

※ 「現状値」は、原則として令和2年度実績（推計値を含む） 指標は、全て単年度毎の数値

（「3 県民の生涯にわたる学びへの貢献」の続き）

(2) 県立図書館職員の能力の育成		3年後の姿：図書館業務を支える職員の能力向上を図る		
職員の研修機会の充実		・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽
【指標】職員全体研修会の開催 ＜現状値：1回＞	2回	2回	2回	2回
【指標】館内研修における職員の 発表回数 ＜現状値：5回＞	10回	10回	10回	10回
【指標】職員の研修・会議等参加 平均回数（全体研修を除く） ＜現状値：1.0回＞	2回	2回	2回	2回

※ 「現状値」は、原則として令和2年度実績（推計値を含む） 指標は、全て単年度毎の数値

## 令和4年度 新潟県立図書館の運営基本方針（案）

令和4年度の新潟県立図書館の運営は、「新潟県立図書館 運営基本指針 令和3年度～5年度」に基づき、3年間の2年目として以下のとおり取り組む。

### 1 地域社会への貢献

令和3年度に開始した県行政との連携や、郷土資料の収集等について、継続して取り組んでいく。

#### (1) 県の行政施策と連携した取組

昨年度開始した、県の行政施策を県民に広報する展示等に継続して取り組む。

#### (2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

郷土資料について、より広く情報を把握し資料の収集につなげていく。また、リニューアルした「越後佐渡デジタルライブラリー」について調整を進めると共に、データ入力が進んでいる「郷土人物/雑誌記事索引データベース」について、活用促進に向けて広報に取り組む。

### 2 県内図書館への貢献

県内の市町村図書館、県立高等学校図書館等の活動の支援に継続して取り組み、県内図書館全体のレベルアップにつなげる。

#### (1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援

県内図書館等のニーズを把握するとともに、セット図書を活用して協力貸出を進めるほか、県立高等学校へのサービス向上に取り組む。

#### (2) 県内図書館等職員の人材育成

階層別研修、訪問研修など各種研修を、市町村立図書館等の要望を取り入れて充実させるとともに、オンライン研修も活用しながら、より多くの図書館等職員が参加できるよう努める。

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

読書環境を整え、県民の学び続ける意欲を支援するとともに、図書館サービスを支える県立図書館職員の能力育成に取り組む。

#### (1) 県民の読書環境の整備

利用者の利便性向上に向けた運用の改善と、読書に困難のある方へのサービスの充実に継続して取り組む。

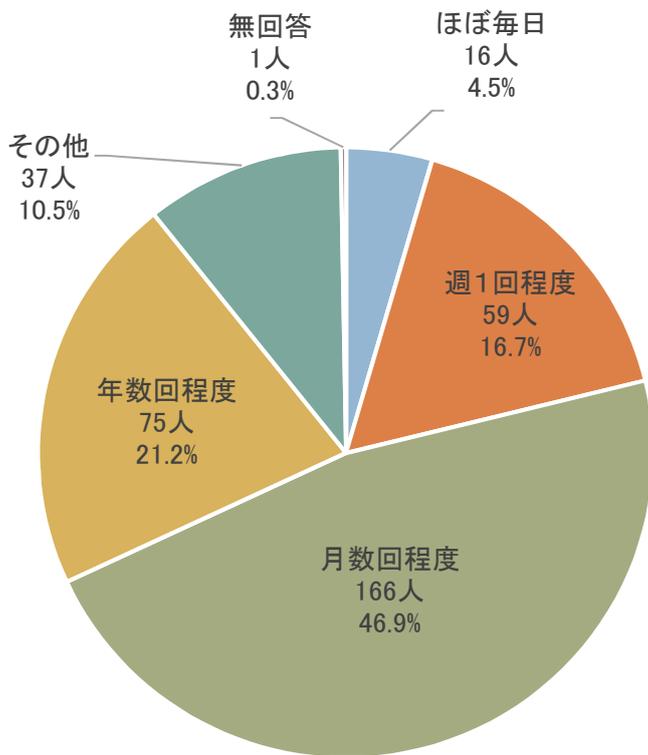
#### (2) 県立図書館職員の能力の育成

多様な研修の受講機会を設けるとともに、職員間で成果を共有する機会を増やすなどして、職員全体の能力のレベルアップを図る。

新潟県立図書館 利用者アンケート集計結果

- 実施期間 令和3年10月6日（水）～19日（火）
- 実施方法 館内にアンケート用紙と回収箱を設置  
県立図書館ホームページからの回答ページ作成
- 回答数 354名（館内266名、ホームページ88名）

Q1 県立図書館をどれくらい利用しますか。



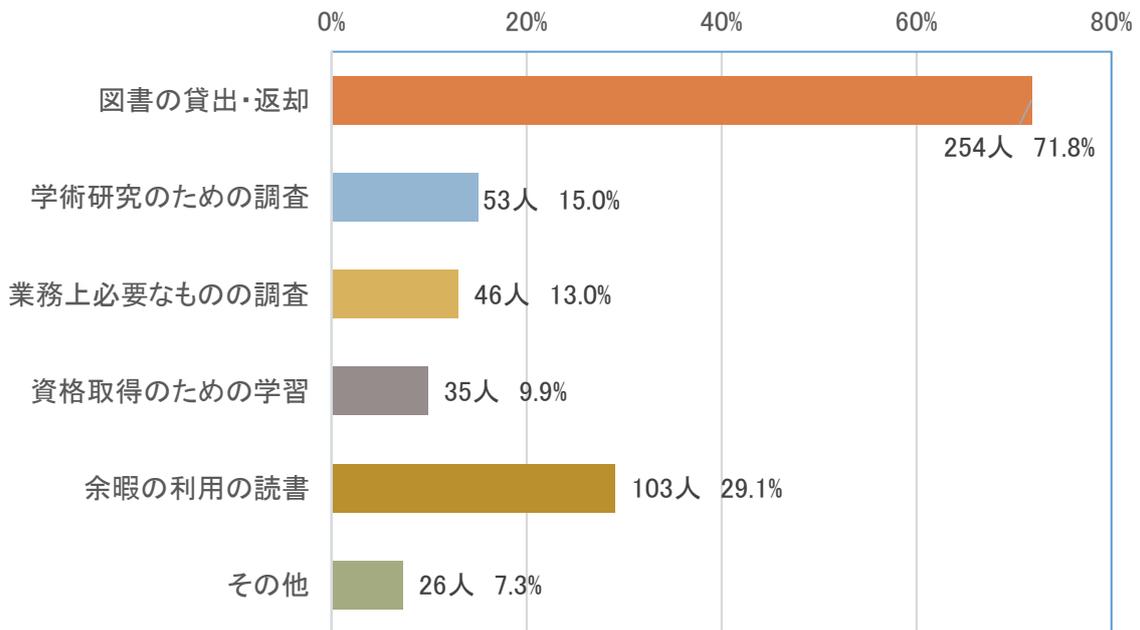
回答内容	回答数	割合
ほぼ毎日	16	4.5%
週1回程度	59	16.7%
月数回程度	166	46.9%
年数回程度	75	21.2%
その他	37	10.5%
無回答	1	0.3%
計(人)	354	

「その他」選択者の自由記述

- ・相互貸借で年に数回利用する。
- ・パソコンによる非来館利用であればほぼ毎日する。
- ・県外在住。在所の県立図書館であれば月1回の割合で利用する。
- ・研究で必要があった場合、数年に数回利用する。
- ・県外在住のため利用しない。
- ・月1回くらい利用する。
- ・佐渡市立図書館との相互貸借で利用する。
- ・利用しない。
- ・数年に1回利用する。

県立図書館の利用頻度は、「月数回」が46.9%で最も多く、次いで「年数回程度」が21.2%。月1回以上利用する人が約6割を占めている。

Q 2 県立図書館を利用する目的は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)



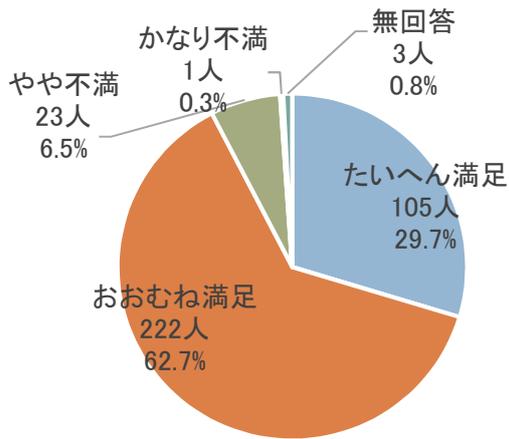
回答内容	回答数	割合
図書の貸出・返却	254	71.8%
学術研究のための調査	53	15.0%
業務上必要なものの調査	46	13.0%
資格取得のための学習	35	9.9%
余暇の利用の読書	103	29.1%
その他	26	7.3%
計(人)	517	

「その他」選択者の自由記述

- ・ 残業のため
- ・ イベント参加のため
- ・ 日常生活に必要なものの調査・研究、趣味に関する調査研究、行政やマスコミ等に意見を出すための調査・研究
- ・ 所蔵資料の検索、県内図書館の横断検索、データベースの利用
- ・ 島の図書館に本を送る活動
- ・ ナクソスマュージックライブラリーの利用
- ・ 相互貸借の利用
- ・ レファレンスの活用
- ・ CDの利用
- ・ 学習

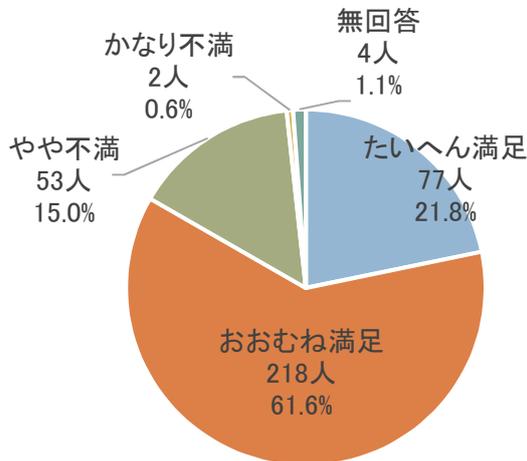
利用目的は、「図書の貸出・返却」が71.8%と最も高く、以下、「余暇の利用の読書」29.1%、「学術研究のための調査」15.0%、「業務上必要なものの調査」13.0%、「資格取得のための学習」9.9%の順になっている。

Q 3 県立図書館の施設について感想をお聞かせください。



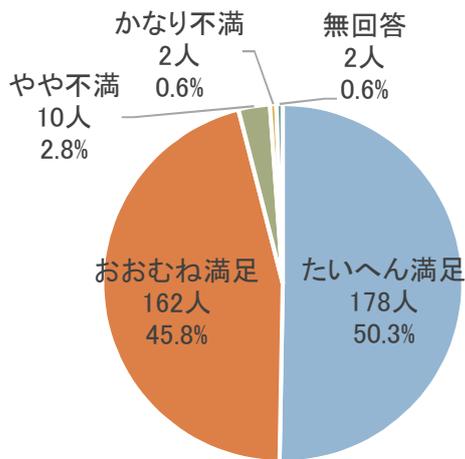
回答内容	回答数	割合
たいへん満足	105	29.7%
おおむね満足	222	62.7%
やや不満	23	6.5%
かなり不満	1	0.3%
無回答	3	0.8%
計(人)	354	

Q 4 県立図書館の資料（図書）について感想をお聞かせください。



回答内容	回答数	割合
たいへん満足	77	21.8%
おおむね満足	218	61.6%
やや不満	53	15.0%
かなり不満	2	0.6%
無回答	4	1.1%
計(人)	354	

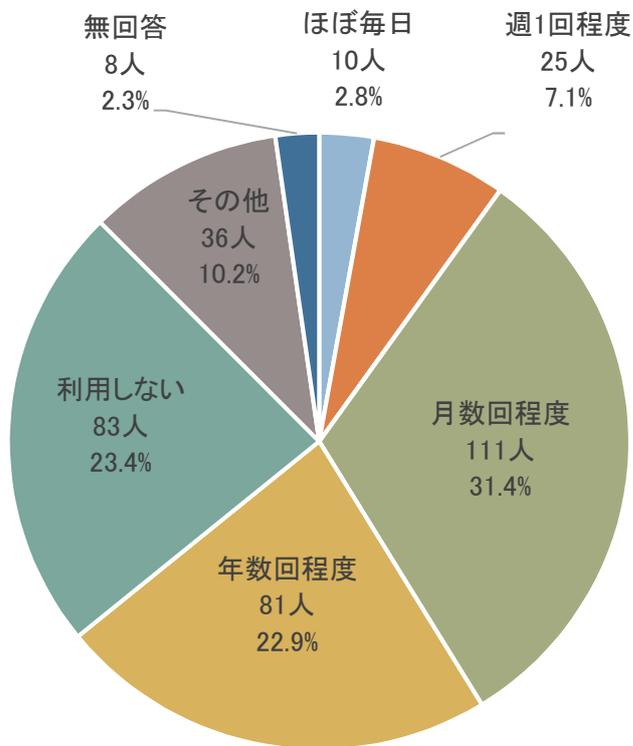
Q 5 県立図書館の職員の対応について感想をお聞かせください。



回答内容	回答数	割合
たいへん満足	178	50.3%
おおむね満足	162	45.8%
やや不満	10	2.8%
かなり不満	2	0.6%
無回答	2	0.6%
計(人)	354	

「たいへん満足」と「おおむね満足」を合わせると、施設は92.4%、資料は83.4%、職員の対応は96.1%が「満足（計）」としている。

Q6 あなたは県立図書館以外で、お住まいの地域の公立図書館・公民館図書館をどれくらい利用しますか？



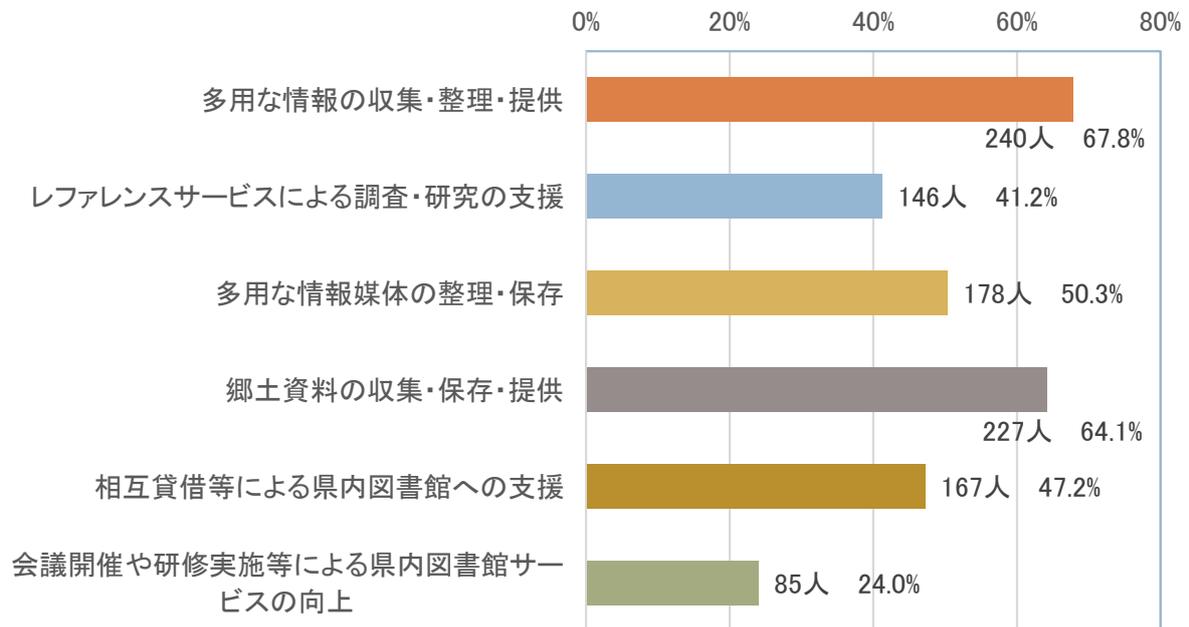
回答内容	回答数	割合
ほぼ毎日	10	2.8%
週1回程度	25	7.1%
月数回程度	111	31.4%
年数回程度	81	22.9%
利用しない	83	23.4%
その他	36	10.2%
無回答	8	2.3%
計(人)	354	

「その他」選択者の自由記述

- ・週2、3回利用する。

地域図書館等の利用状況は、「月数回程度」が31.4%、「年数回程度」が22.9%、「週1回程度」が7.1%となっている。また、「利用しない」が23.4%となっている。

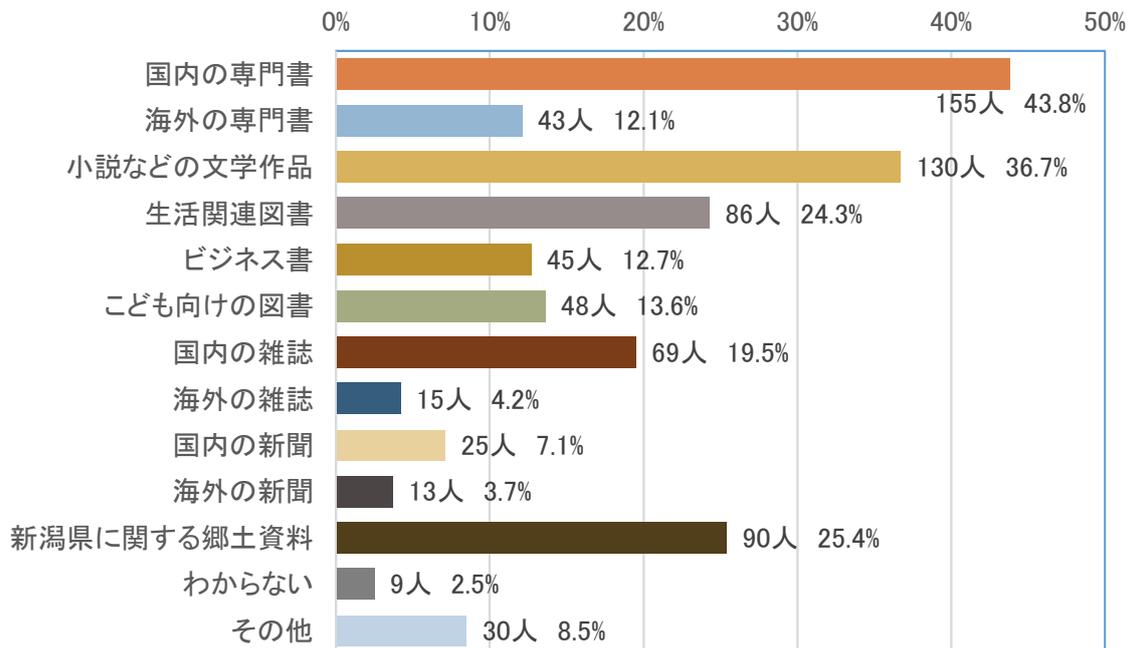
Q7 あなたが県立図書館の機能で知っていることはどれですか。  
(あてはまるものすべて回答)



回答内容	回答数	割合
多様な情報の収集・整理・提供	240	67.8%
レファレンスサービスによる調査・研究の支援	146	41.2%
多様な情報媒体の整理・保存	178	50.3%
郷土資料の収集・保存・提供	227	64.1%
相互貸借等による県内図書館への支援	167	47.2%
会議開催や研修実施等による県内図書館サービスの向上	85	24.0%
計(人)	1,043	

知っている機能は、「多様な情報の収集・整理・提供」67.8%と最も高く、以下「郷土資料の収集・保存・提供」64.1%、「多様な情報媒体の整理・保存」50.3%、「相互貸借等による県内図書館への支援」47.2%などの順になっている。

Q 8 県立図書館で充実してほしい資料はどれですか。(3つまで回答)



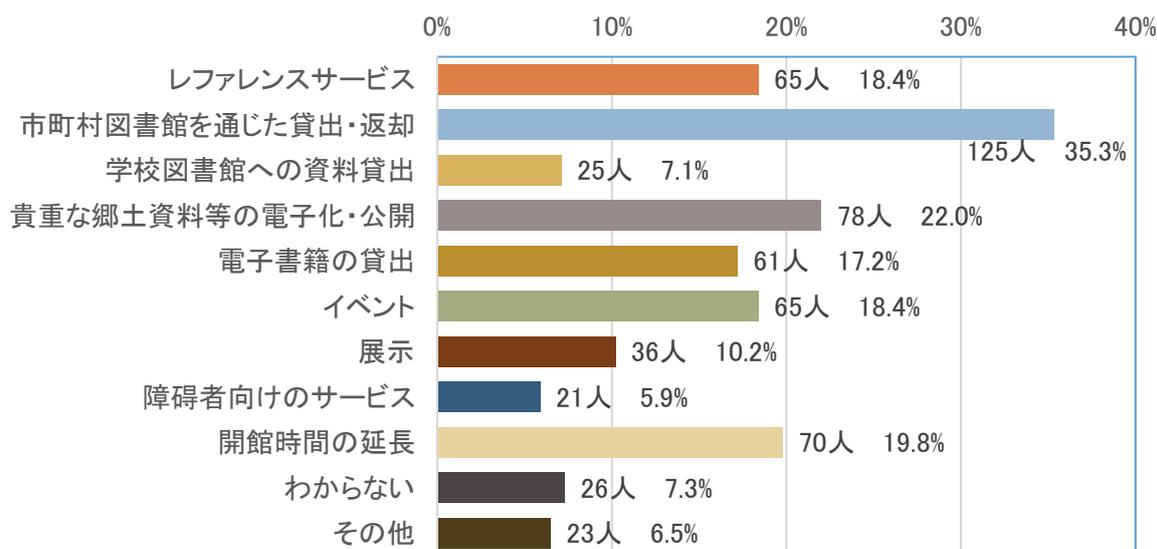
回答内容	回答数	割合
国内の専門書	155	43.8%
海外の専門書	43	12.1%
小説などの文学作品	130	36.7%
生活関連図書	86	24.3%
ビジネス書	45	12.7%
こども向けの図書	48	13.6%
国内の雑誌	69	19.5%
海外の雑誌	15	4.2%
国内の新聞	25	7.1%
海外の新聞	13	3.7%
新潟県に関する郷土資料	90	25.4%
わからない	9	2.5%
その他	30	8.5%
計(人)	758	

「その他」選択者の自由記述

- ・商用データベース、ナクソス、電子書籍、障害者用資料
- ・自費出版物、ZINEなど個人で入手しにくい資料
- ・新書やベストセラー、その時々で流行している本
- ・全国の先進的な図書館を紹介する資料
- ・臨床心理学、メンタルヘルス関係の専門書
- ・CD、DVDなどのオーディオ資料
- ・ポカロでピアノ、デジタルで色の塗り方
- ・海外文学 ・怖い話の資料 ・医学書 ・異世界もの ・株関連の資料
- ・虫の飼い方 ・旅行に関する資料 ・スポーツに関する資料
- ・外国語の書籍 ・林業現場人 ・大活字本 ・資格取得関連の本
- ・文科系の古書 ・学術 ・環日本海に関する資料 ・写真集、画集

「国内の専門書」が43.8%で最も高く、以下「小説などの文学作品」36.7%、「新潟県に関する郷土資料」25.4%、「生活関連図書」24.3%、「国内の雑誌」19.5%、「こども向けの図書」13.6%、「ビジネス書」12.7%などの順になっている。

Q9 県立図書館で実施・充実してほしいサービスはどれですか。(3つまで回答)



回答内容	回答数	割合
レファレンスサービス	65	18.4%
市町村図書館を通じた貸出・返却	125	35.3%
学校図書館への資料貸出	25	7.1%
貴重な郷土資料等の電子化・公開	78	22.0%
電子書籍の貸出	61	17.2%
イベント	65	18.4%
展示	36	10.2%
障害者向けのサービス	21	5.9%
開館時間の延長	70	19.8%
わからない	26	7.3%
その他	23	6.5%
計(人)	595	

「その他」選択者の自由記述

- ・書棚にある書籍が古いものしかない。書棚の中でも新しく入れた本がわかるような工夫を
- ・県立学校へのサービスの充実
- ・県内の図書館職員への研修
- ・県内公立図書館の所蔵資料情報、越後佐渡デジタルライブラリーのNDLサーチとの連携
- ・ネットでの、他県の大学図書館や公共図書館からの貸出
- ・専門書の収集と保存
- ・図書館ならではのオンラインイベントの開催
- ・市町村図書館との資料相互貸借
- ・入り口近くの駐車場の整備
- ・検索機能の充実
- ・自習室の充実
- ・開館時間の拡大(9時～開館)
- ・パソコンブースの充実
- ・市町村図書館への指導
- ・郵送による返却サービス
- ・カフェの再開
- ・文化的価値のある古書の保存
- ・資料の取り寄せサービスの充実

充実してほしいサービスは、「市町村図書館を通じた貸出・返却」が35.3%で最も高く、以下、「貴重な郷土資料等の電子化・公開」22.0%、「開館時間の延長」19.8%、「レファレンスサービス」18.4%、「イベント」18.4%、「電子書籍の貸出」17.2%などの順になっている。

Q10 県立図書館のサービスや管理・運営について、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

1 資料について(蔵書数、資料の状態や質、資料の種類、資料の保管等)

- ・良書なのに書庫保管になっているものが多い。
- ・書棚から書庫への移動が早い。
- ・手芸・料理(特にお菓子関係)の本が多すぎる気がする。
- ・全集の欠本をなくしてほしい。
- ・絵本ではない、小学生が読む児童書が圧倒的に少ない。
- ・本の中に前に借りた人の貸出期限票が挟まっていることがある。また美術書に書き込みが多い。
- ・国内の専門書はもちろんのこと、海外の専門書も充実させてほしい。
- ・CD・DVDなどの資料をもっと充実させてほしい。古くなった資料は本と同じようにリサイクル市を行えばよいのではないか。
- ・郷土に関する貴重な資料や国内外の専門書の収集など、市町村レベルでは収集が難しい書籍を収集することで、県と市町村との差別化が出来るのでは。
- ・図書の汚れ・欠損が目立つ。
- ・もっと新しい本を入れてどんな人に合う本なのか紹介してほしい。
- ・多様な本が揃っていて非常に楽しい。公共の図書館に異世界物があって驚いた。
- ・CDの利用方法を検討してほしい。
- ・新潟県にゆかりのある漫画家の蔵書を豊富にしてほしい。
- ・地盤関係の専門書が古いものばかりで現在の基準に満たない本が多い。新しく発刊された専門書を準備してほしい。
- ・朗読、落語等のCDを充実させてほしい。
- ・特設コーナーで展示されている図書が面白い。
- ・蔵書が乏しくなっているように思う。資料費に予算をかけてほしい。
- ・エッセイ本の種類がもっとあるとうれしい。
- ・新しい洋楽などのCDを増やしてほしい。

2 施設について(閲覧席、設備、館内環境、レイアウト、開館時間等)

- ・書庫を拡張し、デポジットライブラリーを実施してほしい。
- ・こども図書館を再開してほしい。
- ・勉強重視のレイアウトになっていると感じるので、もう少し本の時間を楽しめるようにしてほしい。
- ・検索性パソコンのキーボードを復活させてほしい。
- ・ホールへの廊下が変な匂いがする。
- ・コロナ禍に対応した図書館の活用の仕方を希望する(軽食スペースの設置等)。
- ・飲食スペース、売店、喫茶室、映像ルームなどを充実してほしい。
- ・飲食スペースを解禁してほしい。
- ・開館時間を延長してほしい。(21時以降)
- ・冬の暖房をもう少し暖かくしてほしい。
- ・館内の窓が常に開いていて寒いので、時間をおいて換気するようにしてほしい。
- ・座席を増やしてほしい。(コロナ対策の解除)
- ・12時から13時までのカフェのオープンを進めてほしい。
- ・駐車場が無料なのは助かる。
- ・館内書架を増やしてほしい。
- ・日本海資料は以前の国別の方が見やすかった。
- ・ゆっくり読むスペースの充実、快適な温度設定を望む。
- ・庭、緑を眺められるカフェをつかってほしい。
- ・冷房の温度をもう少し低くしてほしい。

- ・ 2階に自習ゾーンをつくってほしい。
- ・ 閲覧スペースの電灯がぐらぐらしている。
- ・ 備え付けのものが正しく作動するか点検してほしい。
- ・ 食べ物や文具が買える場所があるとよい。
- ・ トイレの扉を足で開けられるようにしてほしい。
- ・ 許可なく自由に使える wi-fi を設置してほしい。
- ・ ゴミ箱の設置を希望する。

### 3 職員について（カウンターの対応、職員の印象、職員への要望等）

- ・ 職員の対応がよい。
- ・ マスク未着用時に職員から注意を受けた。状況を考えて注意してほしい。
- ・ 窓口の対応が分業しすぎだと思う。また資料の予約後の処理が遅い。
- ・ 館内での私語や夏場の小型扇風機など頻繁に見回って注意してほしい。
- ・ 落ち着いた雰囲気や立地環境とスタッフのていねいな対応に満足している。
- ・ 職員の対応には概ね満足だが人手不足を感じる時が度々ある。

### 4 管理・運営について

- ・ 図書館は見直しの対象外であると知事部局に言いたい。
- ・ 新潟県民の貴重な財産を次世代に継承するために、職員の継続雇用は必須である。
- ・ 美術館や博物館など収入をも目的とする施設の一部民営化は効果があるかもしれないが、図書館の民営化は設立目的にそぐわない。
- ・ 市町村図書館の民営化の「防波堤」として直営を堅持すべき。
- ・ 利益に直結しないものこそ行政がやるべき。
- ・ 図書館司書という専門家を買いたたかないでほしい。その技能を身に着けるために費やした時間と労力に見合う職業的地位と報酬を用意すべき。
- ・ 民営化ということになると利益を追求することになり貸出頻度が少ないものが図書館に入らないなど現在の質が保たれなくなるのは目に見えている。
- ・ 調査支援のノウハウは民営化で引き継がれるのか懸念される。民営化で時給雇用パートが増加してサービス拡充が継続できるのか疑問
- ・ 施設で働く人を大事にする運営を目指してほしい。
- ・ 教育施設に指定管理者制度はなじまない。
- ・ 未来の人材を育むためにも、社会人の身近で大切な学びの場でもある図書館を、安易な人員削減、公費削減の対象としないほしい。
- ・ 専門的な司書の存在は不可欠。金銭的な利益ではなく県民の事を考えた運営を。
- ・ 少なくとも選書及びレファレンスは直営でお願いしたい。
- ・ 新潟市立図書館と県立図書館は一本化するべき。
- ・ 直営か指定管理者かという議論が県民にはあまり浸透していない。
- ・ 民営化されて現状が維持できるとは思えない。他県から比べても不十分な資料、運営状況をこれ以上悪化することは県の文化レベルの低下につながる。

### 5 サービスについて（貸出、レファレンスサービス、広報活動、イベント開催等）

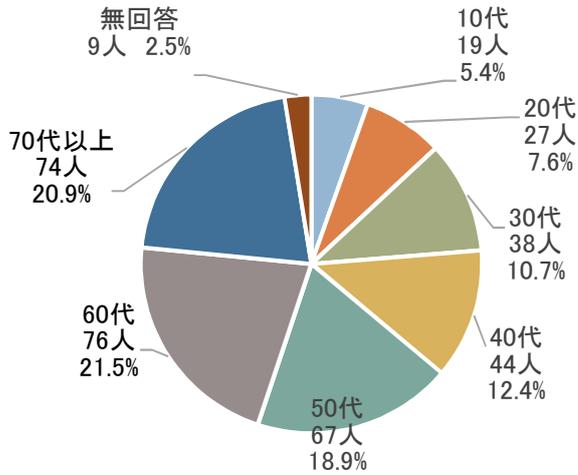
- ・ SNS などを通じた図書館の魅力発信に力を入れてほしい。
- ・ 市町村図書館の支援がおおそかになっている気がする。
- ・ 職員のレファレンス能力の高さをもっと県民にアピールしても良いと思う。
- ・ 県の中心図書館として、郷土資料の保存収集&提供サービスの充実が重要
- ・ 新潟市外からも利用しやすいよう電子書籍の提供を早急に始めることが利用増加に繋がると思う。
- ・ リモートによるレファレンスサービスを行えないか。
- ・ 新潟市立図書館との本の貸出、返却が相互にできるようにしてほしい。
- ・ 年に数回、本に関するイベントを開催してほしい。
- ・ 公開書庫の早期開放をしてほしい。

- ・臨時休館の際に、貸出・返却手続きが難しかった。
- ・カウンターでの貸出手続きの改善を要望する。
- ・図書検索で「書庫」からPCで検索できるとよい。
- ・予約していた資料が自分の番になっても連絡が来ないことがある。延滞者へのペナルティ対策を考えてほしい。
- ・書庫保管庫の貸出をもっと簡単にしてほしい。
- ・貸出返却システム、予約のやり方などわかりやすく気軽に利用できる。
- ・新刊書が入ったらわかりやすく提示してほしい。
- ・レファレンス機能の一層の充実を期待する。
- ・電子書籍の貸出しを開始してほしい。
- ・人気のある本を借りることができるようになるまで時間がかかりすぎる。
- ・受付で本を借りる際の「～冊借りている」「延長しますか？」は不要
- ・0才、1才の読み聞かせが月に数回あるとうれしい。
- ・貸出期間をもっと長くしてほしい。
- ・今後は資料の取り寄せ等は電子化が望ましい。

## 6 その他意見

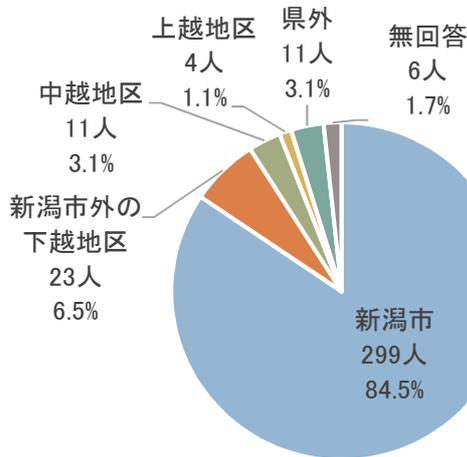
- ・もっと予算をつけても良いのではないか。
- ・駐車場の利用方法について館内で周知のアナウンスをしてほしい。
- ・昭和時代の住宅地図を公開してほしい。
- ・膝が曲げられないため最下段の本が取れず困っている。
- ・時々親子連れの方の声がうるさく感じることもある。
- ・手指消毒を足踏み方式に変えたのはよい。
- ・屋外の花壇、樹木の敷地を立入り禁止とすることで「ミミズク」「トラフズク」の保護を図るべき。
- ・今のままで十分満足
- ・ロケーションは最高だが本の質や量はほんぽ一の方が上
- ・設計段階で利用者の声を聞いてほしい。
- ・料理、小説、専門書、CDをフル活用し生活が楽しく充実したものになっている。
- ・条件付きで、閲覧室でも飲み物が飲めるようにしてほしい。

### Q11 アンケート回答者の年代



回答内容	回答数	割合
10代	19	5.4%
20代	27	7.6%
30代	38	10.7%
40代	44	12.4%
50代	67	18.9%
60代	76	21.5%
70代以上	74	20.9%
無回答	9	2.5%
計(人)	354	

### Q12 アンケート回答者の住所

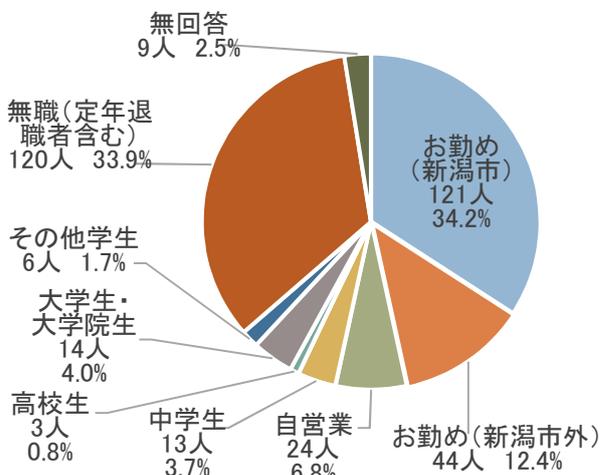


回答内容	回答数	割合
新潟市	299	84.5%
新潟市外の下越地区	23	6.5%
中越地区	11	3.1%
上越地区	4	1.1%
県外	11	3.1%
無回答	6	1.7%
計(人)	354	

#### 「県外」選択者の具体的な居住地

・福島県 ・千葉県 ・東京都 ・埼玉県 ・神奈川県

### Q13 アンケート回答者の職業



回答内容	回答数	割合
お勤め(新潟市)	121	34.2%
お勤め(新潟市外)	44	12.4%
自営業	24	6.8%
中学生	13	3.7%
高校生	3	0.8%
大学生・大学院生	14	4.0%
その他学生	6	1.7%
無職(定年退職者含む)	120	33.9%
無回答	9	2.5%
計(人)	354	

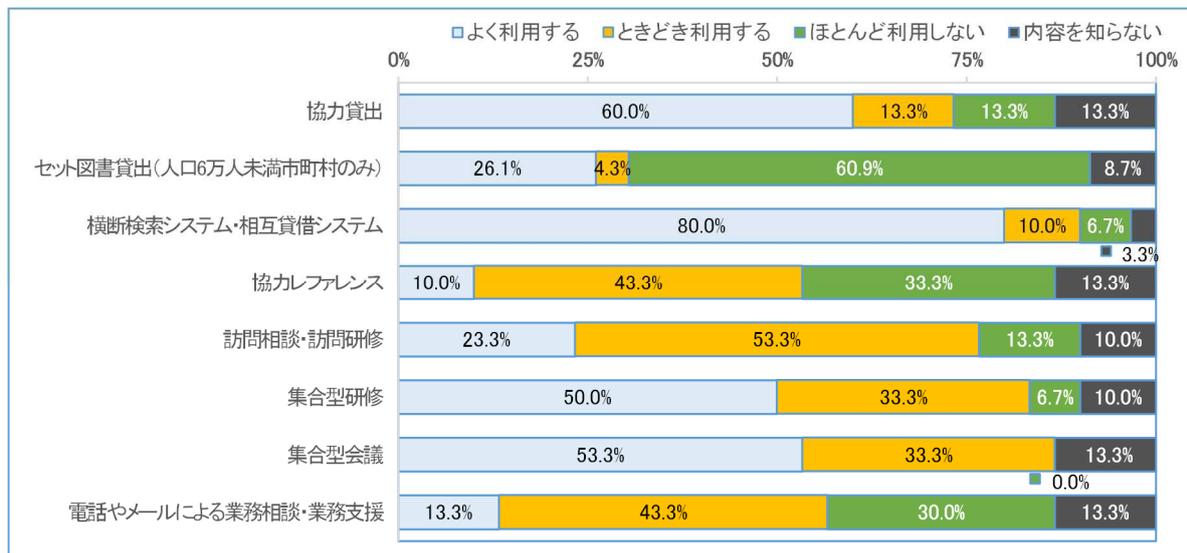
## 市町村立図書館等への意見照会結果

- 対 象 市町村（市町村立図書館、町村公民館図書室所管課）
- 実施時期 令和3年10月
- 実施方法 文書照会

## 【市町村立図書館等支援について】

## 1 新潟県立図書館が実施している市町村立図書館等支援の利用状況

- ・「よく利用する」又は「ときどき利用する」との回答が多かったのは、横断検索システム・相互貸借システム（90.0%）、集合型会議（86.6%）、集合型研修（83.3%）、訪問相談・訪問研修（76.6%）、協力貸出（73.3%）
- ・「ほとんど利用しない」との回答が多かったのは、セット図書貸出（60.9%）、協力レファレンス（33.3%）、電話やメールによる業務相談・業務支援（30.0%）



	よく利用する		ときどき利用する		ほとんど利用しない		内容を知らない	
協力貸出	18	60.0%	4	13.3%	4	13.3%	4	13.3%
セット図書貸出(人口6万人未満市町村のみ)	6	26.1%	1	4.3%	14	60.9%	2	8.7%
横断検索システム・相互貸借システム	24	80.0%	3	10.0%	2	6.7%	1	3.3%
協力レファレンス	3	10.0%	13	43.3%	10	33.3%	4	13.3%
訪問相談・訪問研修	7	23.3%	16	53.3%	4	13.3%	3	10.0%
集合型研修	15	50.0%	10	33.3%	2	6.7%	3	10.0%
集合型会議	16	53.3%	10	33.3%	0	0.0%	4	13.3%
電話やメールによる業務相談・業務支援	4	13.3%	13	43.3%	9	30.0%	4	13.3%

## ○「ほとんど利用しない」を選択した理由

## ＜協力貸出＞

- ・自館で対応可能なため
- ・利用の必要性が低い、利用する機会がないため

## ＜セット図書貸出＞（人口6万人未満市町村図書館対象）

- ・テーマ展示の際に依頼する機会があればと考えていたが、当館資料のみの展示にとどまっている。
- ・自館の団体貸出で対応している。
- ・取り扱いに対する不安（紛失・汚損等）があることと設置できる場所が限られているため

- ・具体的な認識・検討不足があるため
- ・受入れ後の当館での処理方法が決まっていないため
- ・必要がないため、利用の必要性が低い
- ・利用者に貸出するには期間が短いことと汚破損した場合の弁償の方法等が詳しく明記されていないため
- ・今のところ相互貸借で足りているため
- ・以前利用したが、町民の利用が思わしくなかったため
- ・需要がなかったため
- ・事務手続の労力がかかることと破損のおそれ等があるため
- ・利用者の需要や管理上の観点から

#### 〈横断検索システム・相互貸借システム〉

- ・近隣ネットワークの相互貸借で事足りているため
- ・そもそも利用する機会がないため

#### 〈協力レファレンス〉

- ・自館で対応可能であるため。協力を必要とするレファレンスがないため
- ・レファレンスを求められること自体が少ないため

#### 〈訪問相談・訪問研修〉

- ・必要性を感じないため
- ・日程の調整が難しいため
- ・利用は必要に応じた範囲で考えているため

#### 〈集合型研修〉

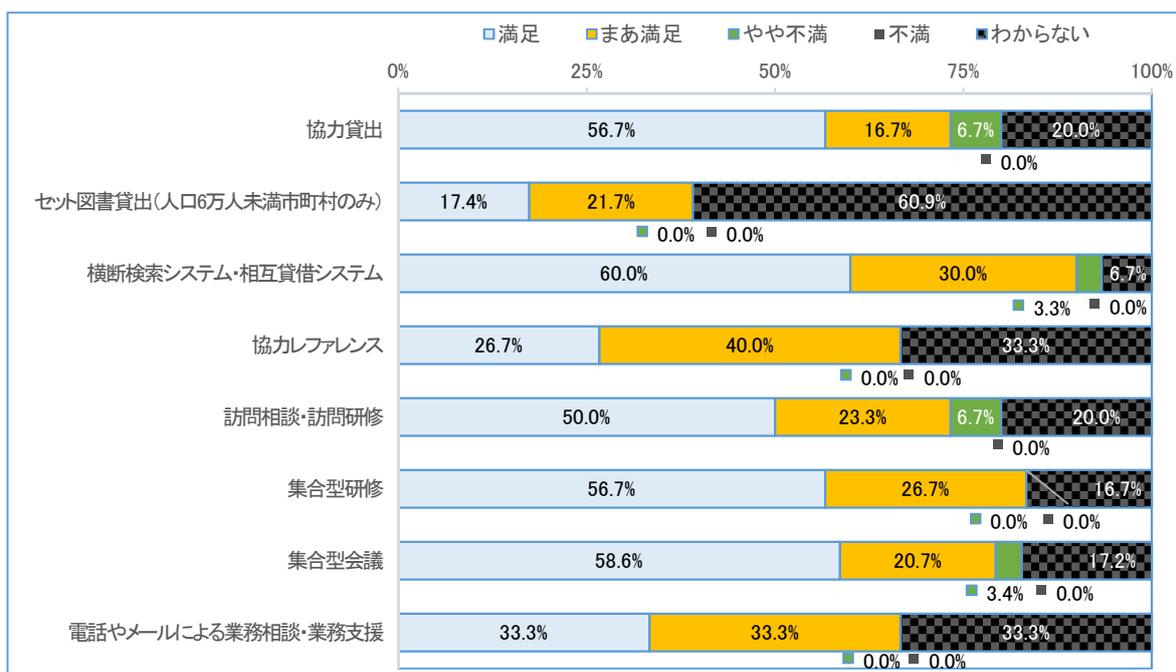
- ・職員数が少ないため、日常業務を離れられず参加が困難であるため

#### 〈電話やメールによる業務相談・業務支援〉

- ・自館で対応可能であるため
- ・必要性を感じないため、相談事項がないため
- ・相談・支援を必要とする案件が少なかったため

## 2 新潟県立図書館が実施している市町村立図書館等支援に対する評価

- ・「満足」又は「まあ満足」との回答が多かったのは、横断検索システム・相互貸借システム（90.0%）、集合型研修（83.4%）、集合型会議（79.3%）、協力貸出（73.4%）、訪問相談・訪問研修（73.3%）
- ・「やや不満」との回答があったのは、協力貸出（6.7%）、訪問相談・訪問研修（6.7%）、集合型会議（3.4%）、横断検索システム・相互貸借システム（3.3%）
- ・「わからない」との回答が多かったのは、セット図書貸出（60.9%）、協力レファレンス（33.3%）、電話やメールによる業務相談・業務支援（33.3%）であり、目的や効果についての市町村への認知度が低い、あるいは市町村におけるニーズとギャップがあると思われる。



	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない
協力貸出	17 56.7%	5 16.7%	2 6.7%	0 0.0%	6 20.0%
セット図書貸出(人口6万人未満市町村のみ)	4 17.4%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	14 60.9%
横断検索システム・相互貸借システム	18 60.0%	9 30.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%
協力レファレンス	8 26.7%	12 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 33.3%
訪問相談・訪問研修	15 50.0%	7 23.3%	2 6.7%	0 0.0%	6 20.0%
集合型研修	17 56.7%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%
集合型会議	17 58.6%	6 20.7%	1 3.4%	0 0.0%	5 17.2%
電話やメールによる業務相談・業務支援	10 33.3%	10 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 33.3%

### ○「やや不満」「不満」を選択した理由

#### <協力貸出>

- ・比較的出版年の古いものだけでなく、専門性の高い新刊資料が継続して県立図書館に所蔵があるとより利用しやすい。

#### <横断検索システム・相互貸借システム>

- ・県内の大学図書館の所蔵情報も一緒に検索できると良い。

#### <訪問相談・訪問研修>

- ・研修の種類が増えるとよりよい。
- ・希望する研修内容と合致しない場合がある。

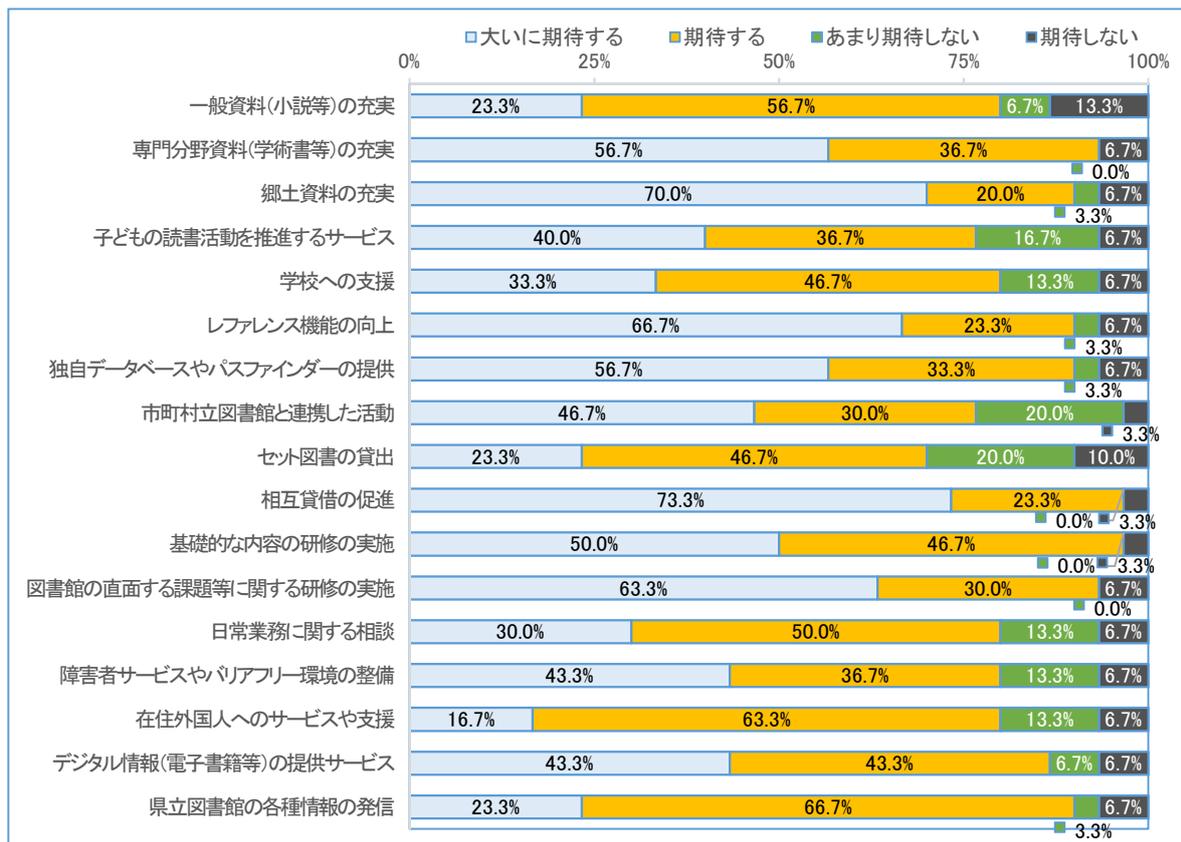
#### <集合型会議>

- ・会議の時間が短く聴取事項の確認に終始し、そこからの展開を話し合う時間がない。中心館の問題が多く小規模図書館の問題の話題が少ない。

## 【県立図書館に期待すること】

### 3 新潟県立図書館に今後力を入れてもらいたいと市町村が期待する取組

- ・「大いに期待する」又は「期待する」との回答が多かったのは、基礎的な内容の研修の実施（96.7%）、相互貸借の促進（96.6%）、専門分野資料の充実（93.4%）、図書館の直面する課題等に関する研修の実施（93.3%）、郷土資料の充実（90.0%）、レファレンス機能の向上（90.0%）、独自データベースやパスファインダーの提供（90.0%）、県立図書館の各種情報の発信（90.0%）
- ・「あまり期待しない」又は「期待しない」との回答が比較的多かったのは、セット図書の貸出（30.0%）、子どもの読書活動を推進するサービス（23.4%）、市町村立図書館と連携した活動（23.3%）



	大いに期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない				
一般資料(小説等)の充実	7	23.3%	17	56.7%	2	6.7%	4	13.3%
専門分野資料(学術書等)の充実	17	56.7%	11	36.7%	0	0.0%	2	6.7%
郷土資料の充実	21	70.0%	6	20.0%	1	3.3%	2	6.7%
子どもの読書活動を推進するサービス	12	40.0%	11	36.7%	5	16.7%	2	6.7%
学校への支援	10	33.3%	14	46.7%	4	13.3%	2	6.7%
レファレンス機能の向上	20	66.7%	7	23.3%	1	3.3%	2	6.7%
独自データベースやパスファインダーの提供	17	56.7%	10	33.3%	1	3.3%	2	6.7%
市町村立図書館と連携した活動	14	46.7%	9	30.0%	6	20.0%	1	3.3%
セット図書の貸出	7	23.3%	14	46.7%	6	20.0%	3	10.0%
相互貸借の促進	22	73.3%	7	23.3%	0	0.0%	1	3.3%
基礎的な内容の研修の実施	15	50.0%	14	46.7%	0	0.0%	1	3.3%
図書館の直面する課題等に関する研修の実施	19	63.3%	9	30.0%	0	0.0%	2	6.7%
日常業務に関する相談	9	30.0%	15	50.0%	4	13.3%	2	6.7%
障害者サービスやバリアフリー環境の整備	13	43.3%	11	36.7%	4	13.3%	2	6.7%
在住外国人へのサービスや支援	5	16.7%	19	63.3%	4	13.3%	2	6.7%
デジタル情報(電子書籍等)の提供サービス	13	43.3%	13	43.3%	2	6.7%	2	6.7%
県立図書館の各種情報の発信	7	23.3%	20	66.7%	1	3.3%	2	6.7%

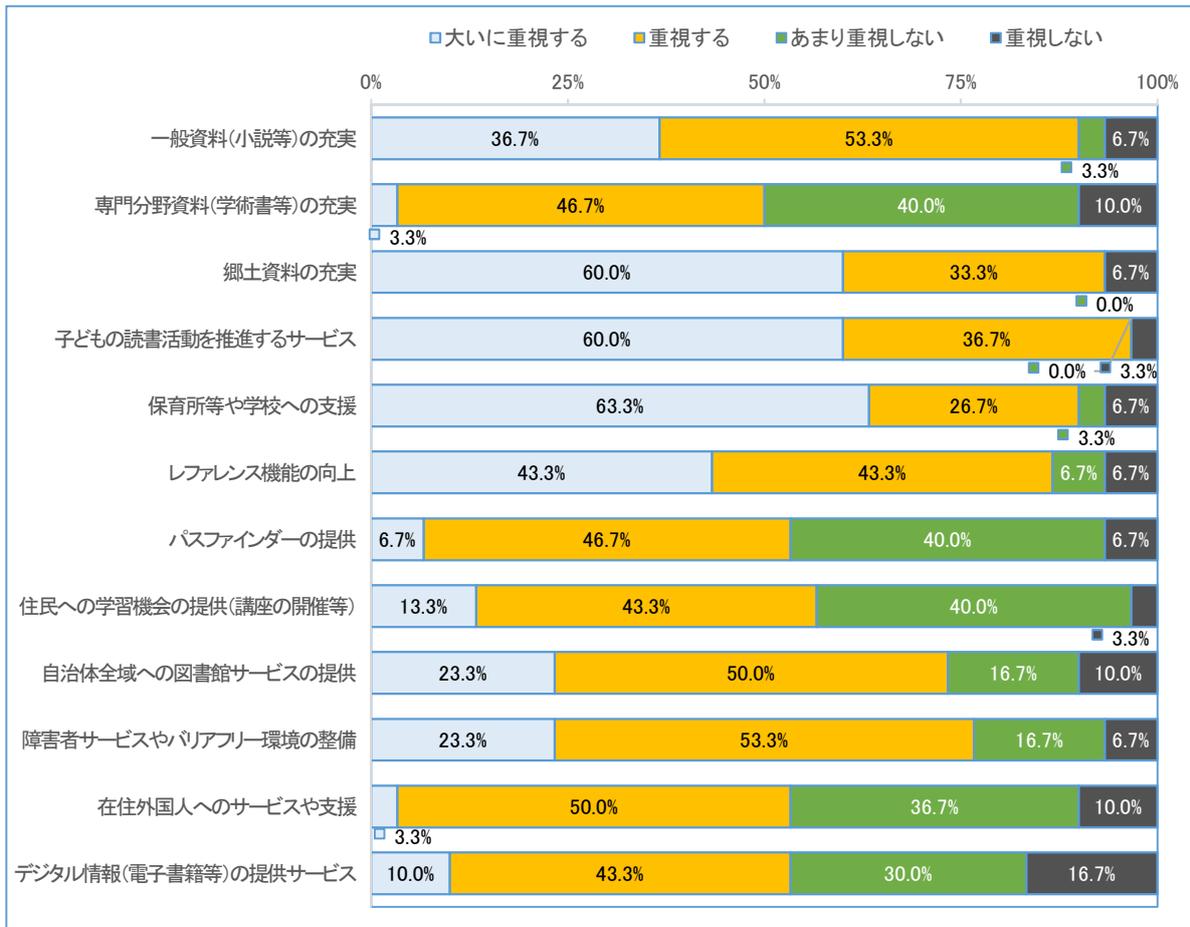
#### ○その他、期待すること（自由記述）

- ・学校図書館センターの設置及び県内学校図書館支援体制の整備
- ・県内公共図書館に対するリーダーシップの発揮。県内協力機関を含めた支援体制の強化
- ・専門的な資料や市町村図書館では購入・所蔵が難しいようなリクエスト本の購入
- ・新潟県の郷土資料に関するデータベースの整備

## 【自図書館で重視していくサービス】

### 4 市町村立図書館等において重視して実施する予定のサービス

- ・「大いに重視する」又は「重視する」との回答が多かったのは、子どもの読書活動を推進するサービス（96.7%）、郷土資料の充実（93.3%）、保育所等や学校への支援（90.0%）、一般資料の充実（90.0%）、レファレンス機能の向上（86.6%）
- ・「あまり重視しない」又は「重視しない」との回答が比較的多かったのは、専門分野資料の充実（50.0%）、デジタル情報の提供サービス（46.7%）、在住外国人へのサービスや支援（46.7%）、パスファインダーの提供（46.7%）、住民への学習機会の提供（43.3%）



	大いに重視する	重視する	あまり重視しない	重視しない
一般資料(小説等)の充実	11 36.7%	16 53.3%	1 3.3%	2 6.7%
専門分野資料(学術書等)の充実	1 3.3%	14 46.7%	12 40.0%	3 10.0%
郷土資料の充実	18 60.0%	10 33.3%	0 0.0%	2 6.7%
子どもの読書活動を推進するサービス	18 60.0%	11 36.7%	0 0.0%	1 3.3%
保育所等や学校への支援	19 63.3%	8 26.7%	1 3.3%	2 6.7%
レファレンス機能の向上	13 43.3%	13 43.3%	2 6.7%	2 6.7%
パスファインダーの提供	2 6.7%	14 46.7%	12 40.0%	2 6.7%
住民への学習機会の提供(講座の開催等)	4 13.3%	13 43.3%	12 40.0%	1 3.3%
自治体全域への図書館サービスの提供	7 23.3%	15 50.0%	5 16.7%	3 10.0%
障害者サービスやバリアフリー環境の整備	7 23.3%	16 53.3%	5 16.7%	2 6.7%
在住外国人へのサービスや支援	1 3.3%	15 50.0%	11 36.7%	3 10.0%
デジタル情報(電子書籍等)の提供サービス	3 10.0%	13 43.3%	9 30.0%	5 16.7%

#### ○その他、重視すること(自由記述)

- ・高度教育機関との連携による講座の開催
- ・図書館からの一方的なサービス提供だけでなく、市民共創による運営
- ・年間の資料費等を鑑みて、類書が少ない資料・古い資料を随時購入

【県立図書館が直営である場合の良い点・悪い点、民間活用拡大した場合の良い点・悪い点】

5 県立図書館のサービスや管理・運営について（自由記述）

県立図書館の民間活用拡大に対しては、おおむね否定や懸念についての意見

一部、「人事交流や情報交換に期待」、「斬新な企画の実現可能性あり」、「利用者としては直営、民営はどちらでもよいのでは。優秀な人材を確保できるかどうか重要」との意見あり。

	良い点	悪い点
直営	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村図書館等への継続的な支援を受けられることが期待できる。</li> <li>新潟県内全体の「図書館の発展」や「文化力向上」を志向するような優れた人材を確保できる。</li> <li>市町村行政寄りの相談等に対してスムーズに対応してもらえる。</li> <li>県立図書館の、市町村立図書館への支援・指導といった役割を考えると、熟練の司書が運営に携わることが望ましい。</li> </ul>	
民間活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館時間が長くなる。</li> <li>市町村図書館との人事交流や情報交換等、これまでなかった事業に期待できる部分はある。</li> <li>行政の立場では発想できないような斬新な企画が実現できる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き今までと同様の支援や相談対応が受けられるかという不安がある。</li> <li>レファレンス能力が維持できるのか疑問（特に郷土資料関係）。</li> <li>指定管理者は5年間などで区切られてしまうため専門性の高い職員を育てることが難しい。</li> <li>市町村立図書館への支援機能（相互貸借・レファレンス・研修等）の低下につながるのではないかと懸念される。</li> <li>地域のことをよく知らない職員の場合、今までどおりの調査相談ができるのか心配がある。</li> <li>レファレンスや郷土人物DB等のノウハウが継承されるかが懸念される。</li> <li>経費削減のため、相互貸借の送料負担等が指定管理者の判断で変更され、住民サービスの低下につながる恐れがある。</li> <li>優秀な人材を確保しにくい。</li> <li>市町村立図書館への対応がどうなるのか非常に不安がある。</li> <li>経費削減が主目的である場合、サービスの向上を望むことは難しいと思う。</li> <li>県立図書館が指定管理者制度を導入した場合、民営化の波が市町村立図書館にも波及するおそれがある。</li> <li>市町村立図書館や他の文教系施設との連携などを考えると、基本的には直営であることが望ましいと考える。</li> <li>図書館の性格上、事業収入が望みにくい中でコストの面での指定管理者を導入するメリットがあまり感じられないと思う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進センター、文書館と一体で考え、施設管理とホール等を使った事業の一部分を指定管理にする方法はスケールメリットがあり良いのではないかと懸念される。</li> <li>利用者としては直営か民営かはどちらでもよいのではないかと懸念される。優秀な人材を確保できるかどうかの方が重要なのではないかと懸念される。</li> <li>拠点が新潟市であるため、上越、中越など県内全域に平等にサービスを提供することが難しいのではないかと懸念される。</li> </ul>	

## 新潟県立図書館 関係者への意見聴取結果概要

## I 市町村立図書館・公民館図書室

## 1 照会項目

「県立図書館の管理・運営のあり方について」

- 市町村立図書館等支援（利用状況・評価）について
- 県立図書館に期待すること
- 自図書館で重視していくサービス
- 県立図書館が直営である場合の良い点・悪い点、民間活用拡大した場合の良い点・悪い点

## 2 照会期間

令和3年10月6日（水）～10月13日（水）

（別途、数か所の市立図書館に個別ヒアリングも実施）

## 3 照会方法

文書により、県立図書館長名で、市町村立図書館長又は町村公民館図書室所管課長に照会

## 4 県立図書館の管理・運営に関する意見（概略）

図書館運営の大部分への民間活用については、市町村支援機能やレファレンス能力の維持確保への不安などから、複数の市町村から懸念する意見があった。

一方で、「人事交流や情報交換に期待」、「（民間活用により）斬新な企画の実現可能性あり」、「利用者としては直営、民営はどちらでもよいのでは。優秀な人材を確保できるかどうか重要」との意見もあった。

※詳細は「資料7」のとおり。

## II 社会教育・学校教育等専門家、学識経験者

## 1 照会項目

「県立図書館の管理・運営のあり方について」

- 県立図書館の役割・機能について
- 県民への情報発信について
- 効果的かつ効率的な図書館運営について

## 2 調査期間

令和3年10月19日（火）～11月2日（火）

## 3 調査方法

文書により、生涯学習推進課長名で、現図書館協議会委員である社会教育・学校教育等専門家、学識経験者（計10名）に対し個別に照会

氏名	所属・職名	氏名	所属・職名
西條 正人	上越市立中郷中学校校長 新潟県学校図書館協議会理事	小島 秀雄	新潟大学附属図書館長 新潟大学理学部教授
渡辺 剛	新潟県立新津高等学校校長 新潟県高等学校図書館協議会地区理事	荻原 幸子	専修大学経営学部教授
吉田 英津子	新潟市立中央図書館長	斎藤 義樹	新潟県視覚障害者情報センター長 (福)新潟県視覚障害者福祉協会理事
猪俣 清子	(社福)翠松保育園長 新潟市私立保育協会副会長	朝日 仁美	公募
高橋 郁丸	漫画家、新潟妖怪研究所長 新潟県民俗学会理事	鶴田 邦子	公募

## 4 効果的かつ効率的な図書館運営について（概略）

図書館運営の大部分への民間活用については、司書職の専門性を維持継承し、市町村支援などの県立図書館としての役割を果たす必要性から、概ね否定的な意見

その他、市町村との資料収集などの役割分担や、専門職のスキルアップといった意見、複合施設として事業運営面の連携を深め、一体化を強化すべきといった意見があった。

## 【参考：利用者アンケート】

### 1 調査項目

- Q 1 利用頻度 Q 2 利用目的 Q 3 施設についての感想
- Q 4 資料（図書）についての感想 Q 5 職員の対応についての感想
- Q 6 居住地域の公立図書館・公民館図書室の利用頻度
- Q 7 県立図書館の機能で知っていること
- Q 8 充実してほしい資料 Q 9 充実してほしいサービス
- Q 10 サービスや管理・運営についての意見（自由記述）
- Q 11 年代 Q 12 居住地 Q 13 職業

### 2 調査期間

令和3年10月6日（水）～10月19日（火）

### 3 調査方法・回答数

指定様式で回答 全 354 回答

- ・館内でアンケート用紙配布・回収 回答数 266
- ・県立図書館ホームページからの回答 回答数 88

### 4 県立図書館の管理・運営に関する意見（概略）

図書館運営の大部分への民間活用について、サービスの低下（利益優先による収集資料の質低下、職員の専門性が維持確保できないことによるレファレンス機能低下等）を懸念する意見が多くあった。

その他、「新潟市立図書館と県立図書館は一本化するべき。」、「直営か指定管理者か」という議論が県民にはあまり浸透していない。」との意見があった。

※詳細は「資料6」のとおり。

## 生涯学習推進課及び県立図書館の考え方

### 1 「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」について

- 文教施設（歴史博物館、近代美術館、県立図書館など7施設）の見直しについては、県有施設管理等検討委員会（令和3年1月）での助言や、利用者及び関係者等の御意見もお聞きしながら、県として、施設ごとの見直し方針の整理・検討をしております。
- 県立図書館については、様々な関係者がいらっしゃる中、施設の利用者、市町村立図書館等、現図書館協議会委員である社会教育・学校教育等専門家並びに学識経験者の皆様を、今回、意見等をお伺いすべき対象としてとらえ、意見照会やアンケートを実施することとしました。
- 皆様には、それぞれのお立場からの多様な御意見をお聞きしたく、令和3年10月5日の第1回図書館協議会において、簡単ではありますが、参考資料及び「ご意見等をいただきたい観点」について説明の上、個別に意見照会させていただいたところです。  
（令和3年10月19日付け教生第155号 生涯学習推進課長名で意見照会発出）
- なお、新潟県立図書館協議会からは、令和3年2月4日付け「新潟県立図書館の指定管理者制度の導入について（意見）」により、図書館長に対し御意見をいただいているところです。

### 2 図書館協議会への諮問について

- 直営か指定管理かという図書館の管理方法に係る事項については、図書館長からの諮問に対し、図書館協議会から意見等をいただくことにはなじまないものと考えております。

### 3 議事録について

- 議事録の体裁については、県の他の審議会のほか、他県や新潟市の図書館協議会の議事録においても、逐語的なもの、要旨を記載したものの両パターンがあります。  
どちらの体裁がよいかについては、一長一短があり、一方が絶対正しく、他方が不適切であるということではないと考えております。
- なお、「都合の良い発言ばかりが議事録に記録され、都合の悪い発言は省略される」という懸念につきましては、そのようなことがないようにするために委員の皆様にご公表前の確認をお願いするものです。
- 最終的には、委員長の御意向を踏まえ、従前と同様の体裁で取りまとめることといたしました。

# 「令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価」

## 取りまとめスケジュール

日 程	作 業
3月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事務局が「令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価（案）」を図書館協議会に提出</li><li>○ 協議会において質疑、意見交換</li></ul>
～4月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 各委員は、協議会での事務局説明、意見交換等を踏まえ、意見（外部評価）を事務局に提出（メール、ファクス等）</li><li>○ 事務局は、各委員から提出された意見を委員長に送付</li></ul>
～5月前半	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 委員長は、各委員の意見を集約し、委員会意見を取りまとめ</li></ul>
5月中旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価」の確定</li></ul>
6月又は7月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 事務局は、確定した「令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価」を新潟県教育委員会に報告</li></ul>

# 令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価(案)についての意見

委員氏名 : \_\_\_\_\_

## 1 重点事業評価

項 目		意見(できる限り箇条書きをお願いします。)
(1)	地域社会への貢献	
(2)	県内図書館への貢献	
(3)	県民の生涯にわたる 学びへの貢献	

## 2 新潟県立図書館運営全体に対する意見

※ この様式にこだわらず、FAX、メール等、何でもお寄せください。

(FAX: 025-284-6832 E-mail: kobayashi.tomoyuki@pref.niigata.lg.jp)